

# 1 概況

## (1) 総合指数

### 広島市、福山市、三次市の3市ともに8年ぶりに上昇

- 光熱・水道や住居などの値上がりにより、前年比は3市ともに上昇。
- 総合指数は、平成10年以來8年ぶりに3市ともに前年の水準を上回った。
- 全国も平成10年以來8年ぶりに前年の水準を上回った。

図1 総合指数の動き(平成17年=100)

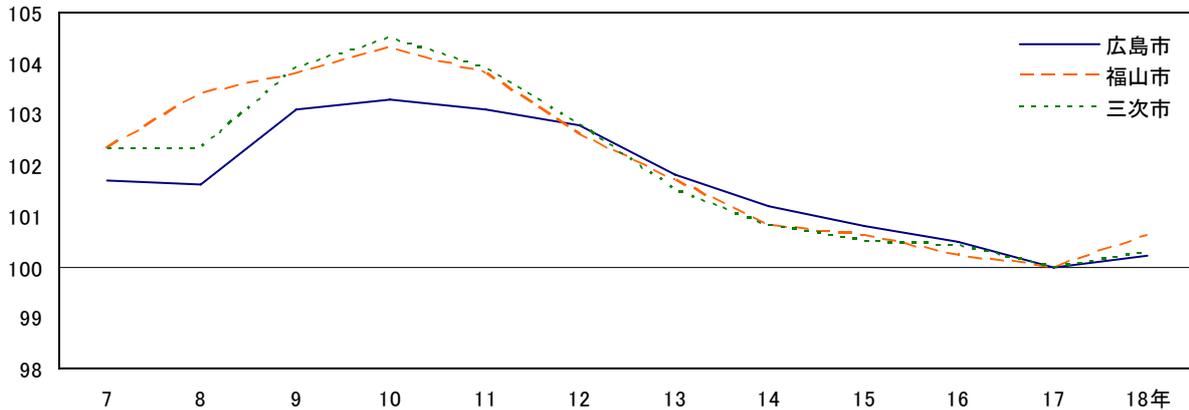


図2 総合指数の前年比(%)

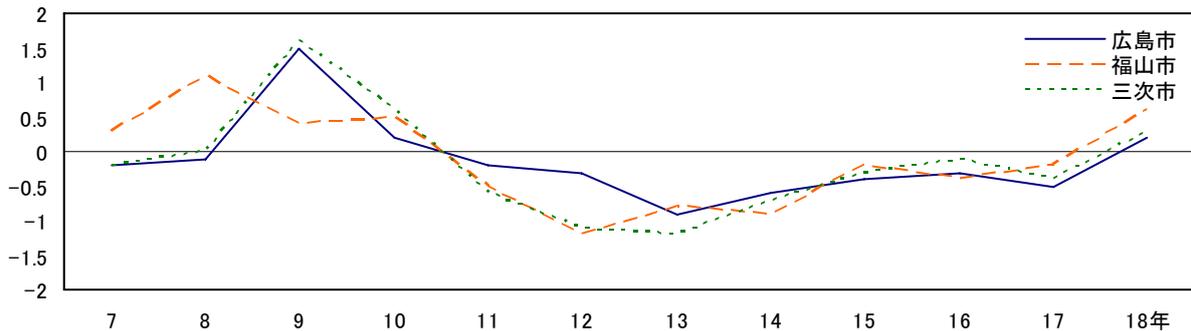


表1 総合指数の推移(平成17年=100)

		平成7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年
広島市	指数	101.7	101.6	103.1	103.3	103.1	102.8	101.8	101.2	100.8	100.5	100.0	100.2
	前年比(%)	▲0.2	▲0.1	1.5	0.2	▲0.2	▲0.3	▲0.9	▲0.6	▲0.4	▲0.3	▲0.5	0.2
福山市	指数	102.3	103.4	103.8	104.3	103.8	102.6	101.7	100.8	100.6	100.2	100.0	100.6
	前年比(%)	0.3	1.1	0.4	0.5	▲0.5	▲1.2	▲0.8	▲0.9	▲0.2	▲0.4	▲0.2	0.6
三次市	指数	102.3	102.3	103.9	104.5	103.9	102.8	101.5	100.8	100.5	100.4	100.0	100.3
	前年比(%)	▲0.2	0.0	1.6	0.6	▲0.6	▲1.1	▲1.2	▲0.7	▲0.3	▲0.1	▲0.4	0.3
東京都 区部	指数	102.5	102.5	103.8	104.6	104.2	103.2	102.1	101.0	100.6	100.5	100.0	100.1
	前年比(%)	▲0.3	0.0	1.3	0.8	▲0.4	▲1.0	▲1.1	▲1.0	▲0.4	▲0.1	▲0.5	0.1
全国	指数	100.7	100.8	102.7	103.3	103.0	102.2	101.5	100.6	100.3	100.3	100.0	100.3
	前年比(%)	▲0.1	0.1	1.8	0.6	▲0.3	▲0.7	▲0.7	▲0.9	▲0.3	0.0	▲0.3	0.3

※ 平成16年以前の指数は、各基準年の指数を平成17年=100として換算したものです。

## (2) 生鮮食品を除く総合指数

広島市は6年ぶりに上昇、福山市及び三次市は8年ぶりに上昇

- 広島市は6年ぶり、福山市及び三次市は8年ぶりに上昇。
- 生鮮食品を除く総合指数は、広島市は平成12年以来6年ぶり、福山市及び三次市は平成10年以来8年ぶりに前年の水準を上回った。

図3 生鮮食品を除く総合の動き(平成17年=100)

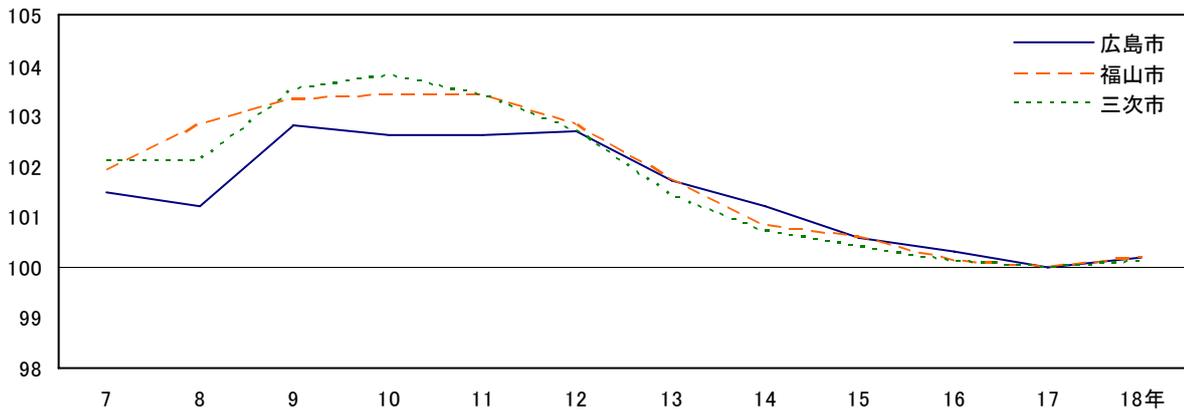


図4 生鮮食品を除く総合の前年比(%)

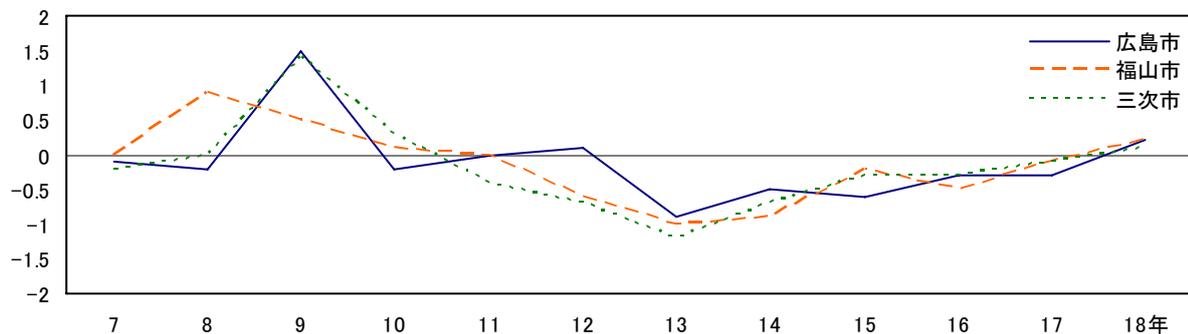


表2 生鮮食品を除く総合指数の推移 (平成17年=100)

		平成7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年
広島市	指数	101.5	101.2	102.8	102.6	102.6	102.7	101.7	101.2	100.6	100.3	100.0	100.2
	前年比(%)	▲ 0.1	▲ 0.2	1.5	▲ 0.2	0.0	0.1	▲ 0.9	▲ 0.5	▲ 0.6	▲ 0.3	▲ 0.3	0.2
福山市	指数	101.9	102.8	103.3	103.4	103.4	102.8	101.7	100.8	100.6	100.1	100.0	100.2
	前年比(%)	0.0	0.9	0.5	0.1	0.0	▲ 0.6	▲ 1.0	▲ 0.9	▲ 0.2	▲ 0.5	▲ 0.1	0.2
三次市	指数	102.1	102.1	103.5	103.8	103.4	102.7	101.4	100.7	100.4	100.1	100.0	100.1
	前年比(%)	▲ 0.2	0.0	1.4	0.3	▲ 0.4	▲ 0.7	▲ 1.2	▲ 0.7	▲ 0.3	▲ 0.3	▲ 0.1	0.1
東京都 区部	指数	102.2	102.2	103.6	104.1	103.9	103.2	102.0	101.0	100.6	100.4	100.0	100.0
	前年比(%)	▲ 0.1	0.0	1.4	0.5	▲ 0.2	▲ 0.7	▲ 1.2	▲ 0.9	▲ 0.4	▲ 0.2	▲ 0.4	0.0
全国	指数	100.4	100.6	102.3	102.7	102.7	102.2	101.4	100.5	100.2	100.1	100.0	100.1
	前年比(%)	0.0	0.2	1.7	0.3	0.0	▲ 0.4	▲ 0.8	▲ 0.9	▲ 0.3	▲ 0.1	▲ 0.1	0.1

※ 平成16年以前の指数は、各基準年の指数を平成17年=100として換算したものです。

### (3) 月別指数の動き

総合指数は年中央に一時大きく上昇したが、その後上昇幅が縮小

生鮮食品を除く総合指数は年中央から上昇

食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合は9月～10月以降に上昇

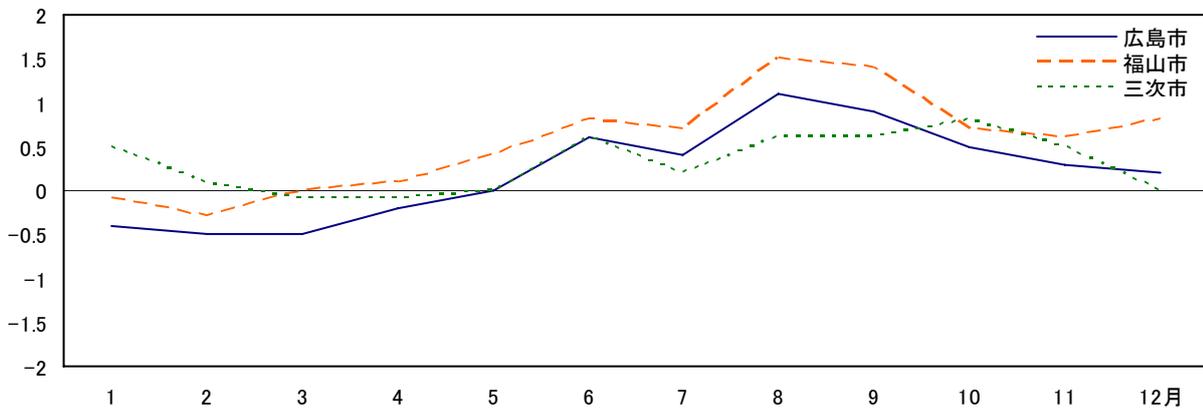
#### ○ 総合指数の前年同月比

広島市は、6月に上昇に転じ、8月には生鮮食品及びエネルギー等の上昇により一時的に大きく上昇した。

福山市は、4月に上昇に転じ、8月には生鮮食品及びエネルギー等の上昇により一時的に大きく上昇した。

三次市は、6月に上昇に転じ、その後は安定的に上昇が続いたが、12月に前年と同水準になった。

図5 総合指数の月別の動き（前年同月比：％）



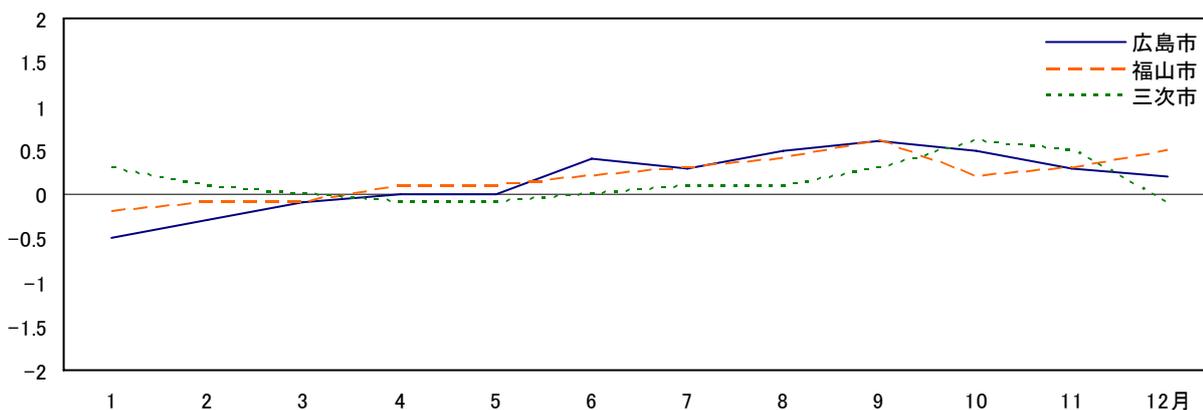
#### ○ 生鮮食品を除く総合指数の前年同月比

広島市は、6月に上昇に転じ、その後は安定的に上昇が続いた。

福山市は、4月に上昇に転じ、その後は安定的に上昇が続いた。

三次市は、7月に上昇に転じ、その後は安定的に上昇が続いたが、12月に下落した。

図6 生鮮食品を除く総合指数の月別の動き（前年同月比：％）



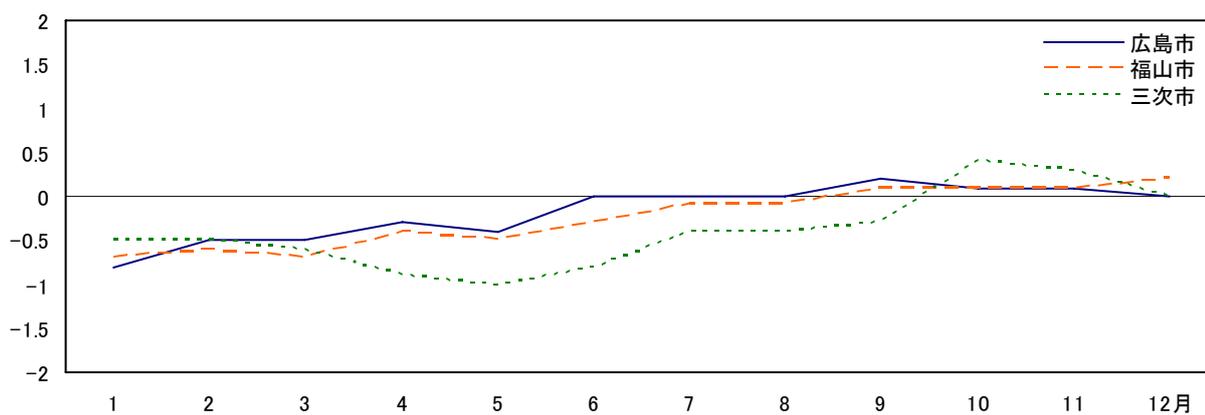
○ 食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数の前年同月比

広島市は、前年の水準をかなり下回っていたが、9月に上昇に転じ、12月に前年と同水準になった。

福山市は、前年の水準をかなり下回っていたが、9月に上昇に転じ、その後は安定的に上昇した。

三次市は、前年の水準をかなり下回っていたが、10月に上昇に転じ、12月に前年と同水準になった。

図7 食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数の月別の動き（前年同月比：％）



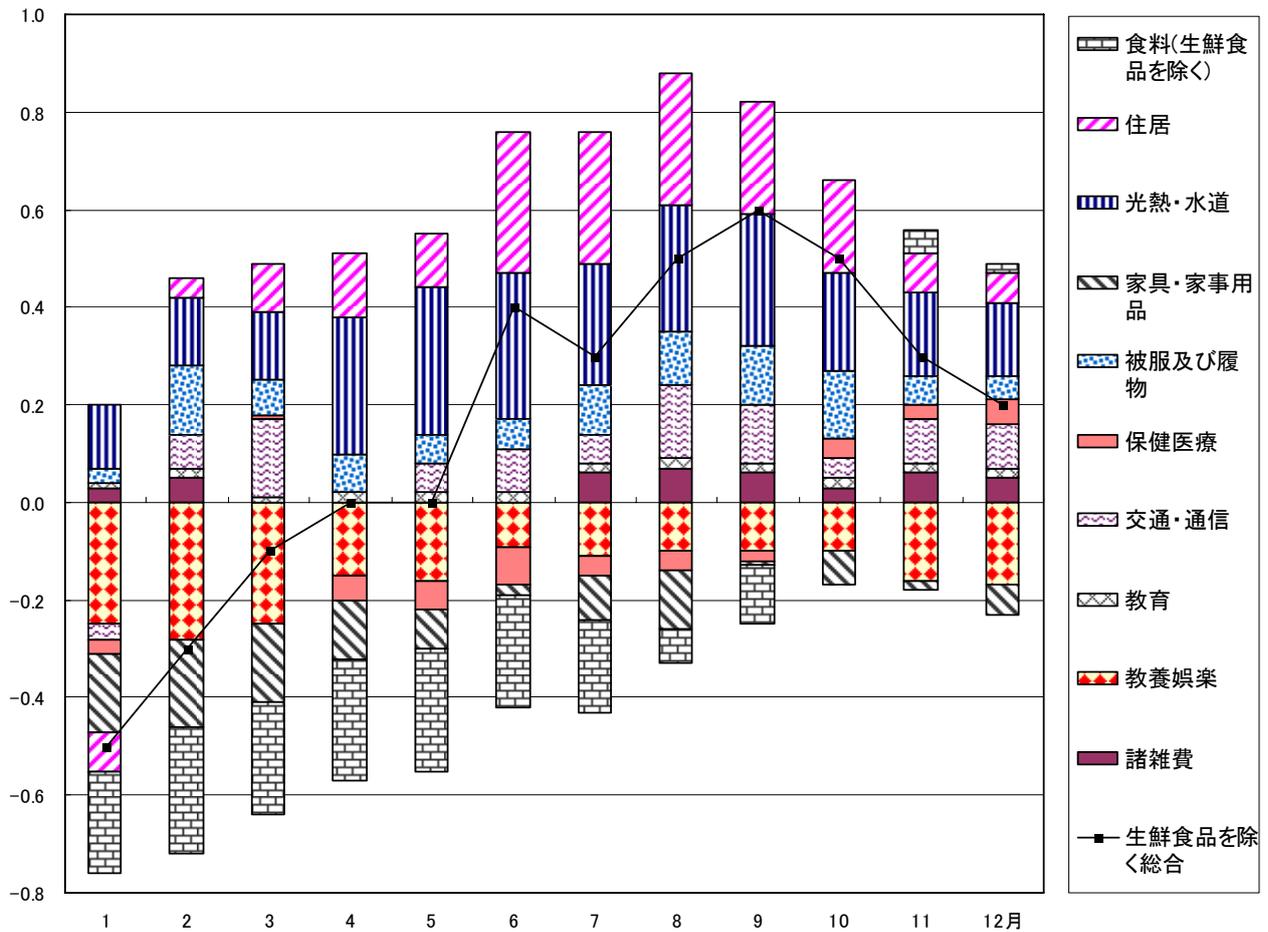
(4) 生鮮食品を除く総合に対する10大分類別の寄与度の動き(月別)

○ 広島市

上昇要因は、住居、光熱・水道、被服及び履物、交通・通信である。なお、光熱・水道はエネルギーの灯油、電気代、ガス代が含まれ、交通・通信にはガソリンが含まれる。また、大きな下落要因の携帯電話通信料は交通・通信に含まれ上昇分を押下げしている。

下落要因は、食料(生鮮食品を除く)、家具・家事用品、教養娯楽である。ただし、食料(生鮮食品を除く)は、年末には上昇要因に転じた。

図8 生鮮食品を除く総合指数の寄与度(広島市)前年同月比

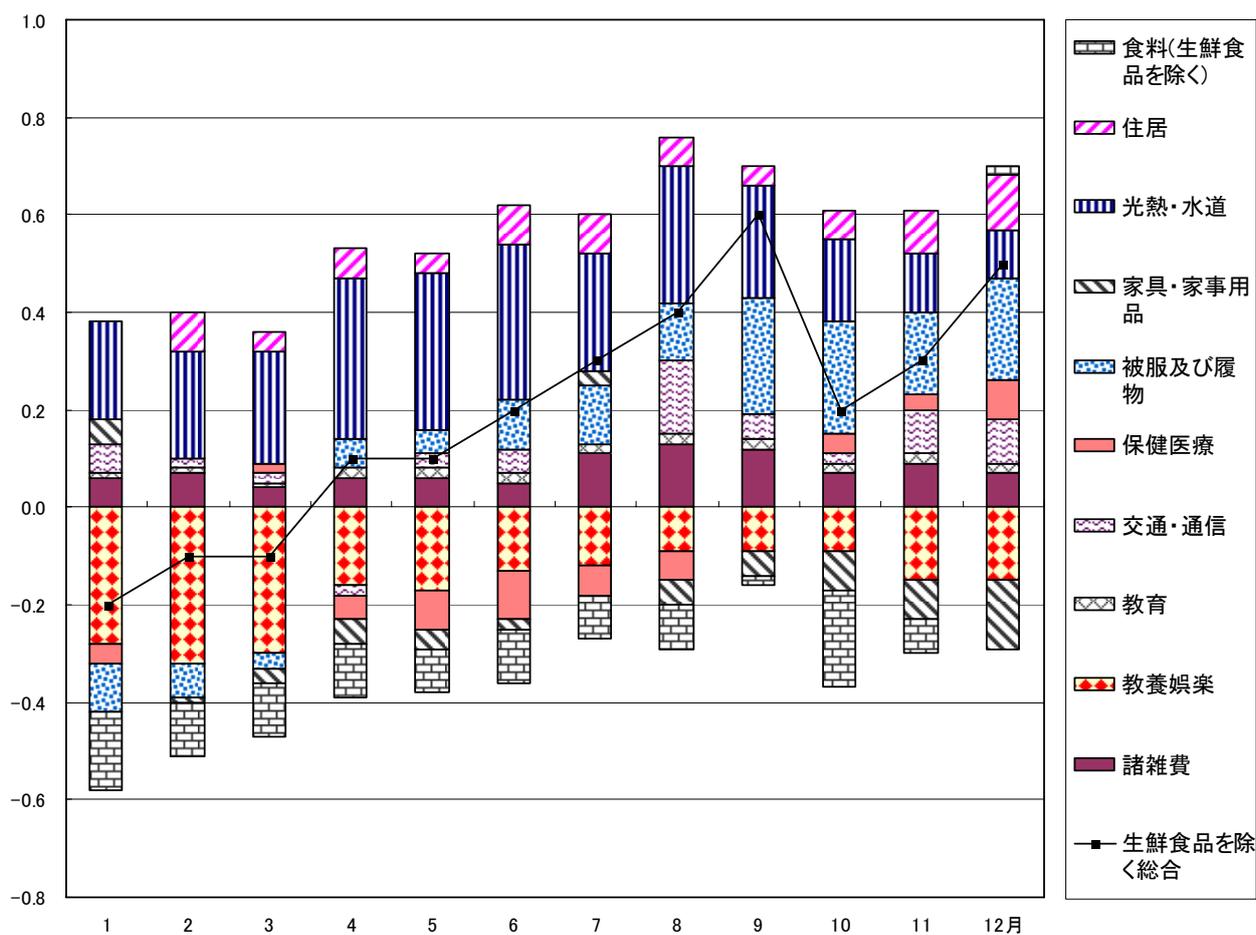


○ 福山市

上昇要因は、住居、光熱・水道、被服及び履物、交通・通信である。大きな下落要因の携帯電話通信料は交通・通信に含まれ上昇分を押下げしている。

下落要因は、食料（生鮮食品を除く）、教養娯楽である。ただし、食料（生鮮食品を除く）は、広島市と同様年末には上昇要因に転じた。

図9 生鮮食品を除く総合指数の寄与度(福山市)前年同月比

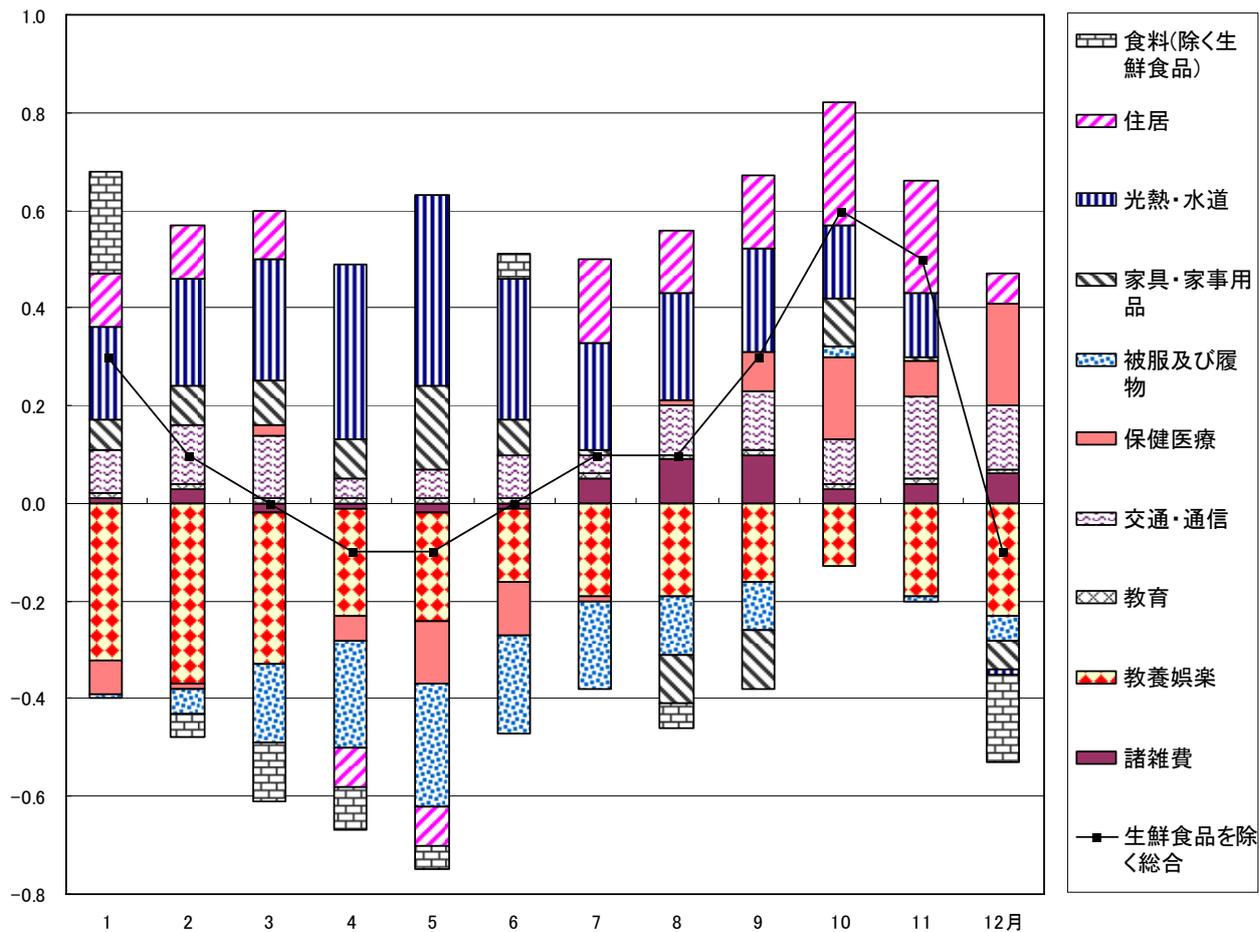


○ 三次市

上昇要因は、住居、光熱・水道、交通・通信である。大きな下落要因の携帯電話通信料は交通・通信に含まれ上昇分を押下げしている。

下落要因は、被服及び履物、教養娯楽である。

図10 生鮮食品を除く総合指数の寄与度(三次市)前年同月比



(5) 品目別指数の動き（生鮮食品を除く総合）

光熱・水道は3市ともに上昇

教養娯楽は3市ともに下落

○ 広島市

光熱・水道のうち都市ガス代などのガス代，灯油の他の光熱が上昇した。

教養娯楽のうちパソコン（ノート型）などの教養娯楽用耐久財が下落した。

表3 広島市の費目別の動き

主な内訳	10大費目	中分類	品目
上昇要因	光熱・水道	ガス代 (4.8%)，他の光熱 (23.4%)	都市ガス代，灯油など
	住居	家賃 (0.8%)	持家の帰属家賃(木造中住宅)など
	被服及び履物	シャツ・セーター類 (3.5%)	婦人セーター（長袖）など
	交通・通信	自動車等関係費 (2.9%)	ガソリンなど
下落要因	教養娯楽	教養娯楽用耐久財 (▲19.5%)	パソコン（ノート型）など
	食料(生鮮食品を除く)	飲料 (▲6.9%)	果汁入り飲料など

○ 福山市

光熱・水道のうち灯油の他の光熱，電気代が上昇した。

教養娯楽のうちテレビ（薄型）などの教養娯楽用耐久財が下落した。

表4 福山市の費目別の動き

主な内訳	10大費目	中分類	品目
上昇要因	光熱・水道	他の光熱 (23.7%)，電気代 (1.8%)	灯油，電気代など
	被服及び履物	洋服 (1.5%)	スカート（秋冬物）など
下落要因	教養娯楽	教養娯楽用耐久財 (▲18.2%)	テレビ(薄型)など
	食料(生鮮食品を除く)	飲料 (▲4.4%)	果汁入り飲料など

○ 三次市

光熱・水道のうちプロパンガスなどのガス代，灯油の他の光熱が上昇した。

教養娯楽のうちパソコン（ノート型）などの教養娯楽用耐久財が下落した。

表5 三次市の費目別の動き

主な内訳	10大費目	中分類	品目
上昇要因	光熱・水道	ガス代 (4.6%)，他の光熱 (18.3%)	プロパンガス，灯油など
	交通・通信	自動車等関係費 (2.8%)	ガソリンなど
下落要因	教養娯楽	教養娯楽用耐久財 (▲19.4%)	パソコン（ノート型）など
	被服及び履物	洋服 (▲3.1%)	男子ズボン（冬物）など

## 2 財・サービス分類指数の動き

### (1) 財の前年比は3市ともに上昇

#### サービスの前年比は広島市及び三次市は上昇、福山市は下落

財の前年比は、広島市0.2%、福山市1.1%、三次市0.5%となり、3市ともに上昇した。財のうち、農水畜産物の生鮮商品は、生鮮野菜の高値などにより上昇した。

工業製品では、石油製品が原油高の影響により、3市ともに大きく上昇した。一方、食料工業製品は下落した。

電気・都市ガス・水道では、原油高の影響により上昇した。

サービスの前年比は、広島市0.2%、福山市▲0.1%、三次市0.1%となった。

サービスのうち公共サービスは、広島市、三次市は介護料の値上げなどにより上昇した。福山市はタクシー代の値下げなどにより下落した。

一般サービスは、外食、持家の帰属家賃は3市ともに上昇した。一方、他のサービスは3市ともに下落した。

表6 財・サービス分類指数の前年比

(平成17年=100)

費 目	広 島 市			福 山 市			三 次 市		
	指数	前年比 (%)		指数	前年比 (%)		指数	前年比 (%)	
		18年	17年		18年	17年		18年	17年
<b>財</b>	<b>100.2</b>	<b>0.2</b>	<b>▲0.6</b>	<b>101.1</b>	<b>1.1</b>	<b>▲0.1</b>	<b>100.5</b>	<b>0.5</b>	<b>▲0.8</b>
農水畜産物	100.7	0.7	▲4.8	104.2	4.2	▲4.6	102.8	2.8	▲5.2
生鮮商品	101.1	1.1	▲3.0	105.2	5.2	▲2.9	103.6	3.6	▲3.5
他の農水畜産物	96.9	▲3.1	▲16.1	97.2	▲2.8	▲15.1	96.6	▲3.4	▲15.7
工業製品	99.8	▲0.2	0.1	100.6	0.6	0.9	100.0	0.0	0.0
食料工業製品	98.6	▲1.4	▲0.2	99.5	▲0.5	0.4	99.5	▲0.5	0.0
繊維製品	101.7	1.7	2.2	102.1	2.1	3.2	99.5	▲0.5	1.5
石油製品	110.7	10.7	8.9	109.3	9.3	10.2	107.4	7.4	6.7
その他の工業製品	98.0	▲2.0	▲1.8	98.7	▲1.3	▲1.7	98.4	▲1.6	▲2.5
電気・都市ガス・水道	102.1	2.1	0.5	101.1	1.1	0.0	101.2	1.2	0.0
出版物	100.5	0.5	0.4	100.5	0.5	0.4	100.5	0.5	0.4
<b>サ ー ビ ス</b>	<b>100.2</b>	<b>0.2</b>	<b>▲0.4</b>	<b>99.9</b>	<b>▲0.1</b>	<b>▲0.4</b>	<b>100.1</b>	<b>0.1</b>	<b>0.2</b>
公共サービス	100.1	0.1	▲0.6	99.8	▲0.2	▲1.3	100.2	0.2	▲1.2
一般サービス	100.2	0.2	▲0.2	100.0	0.0	0.1	100.1	0.1	0.9
外食	100.8	0.8	0.5	100.6	0.6	0.3	100.4	0.4	0.5
民営家賃	99.9	▲0.1	▲0.6	99.8	▲0.2	▲0.5	100.1	0.1	2.6
持家の帰属家賃	101.2	1.2	▲1.2	100.1	0.1	▲0.1	100.6	0.6	1.0
他のサービス	99.5	▲0.5	0.1	99.6	▲0.4	0.3	99.4	▲0.6	0.6

(2) 生鮮食品を除く総合に対する財・サービス分類指数の動き

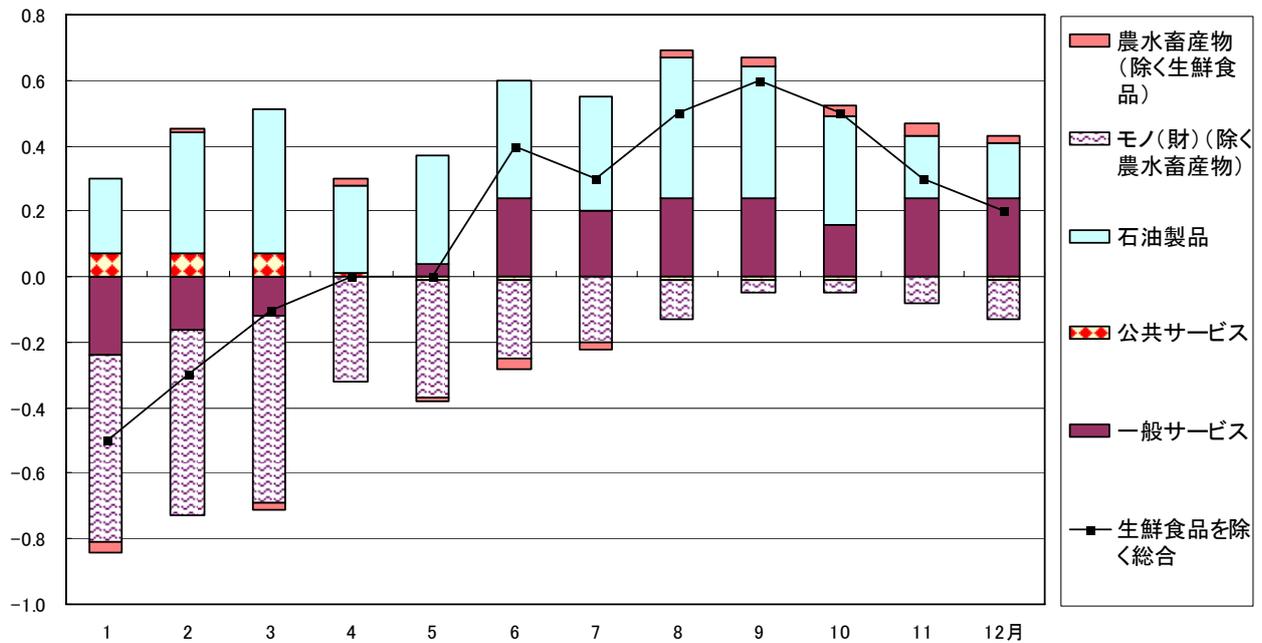
○ 広島市

一年を通じて石油製品の影響が非常に大きかったが、年末にかけて、やや緩和した。

モノ（財）（除く農水畜産物）が年初に大きく下げたが、年末にかけて、やや緩和した。

一般サービスは年中央から上昇に転じ、その後安定して上昇している。

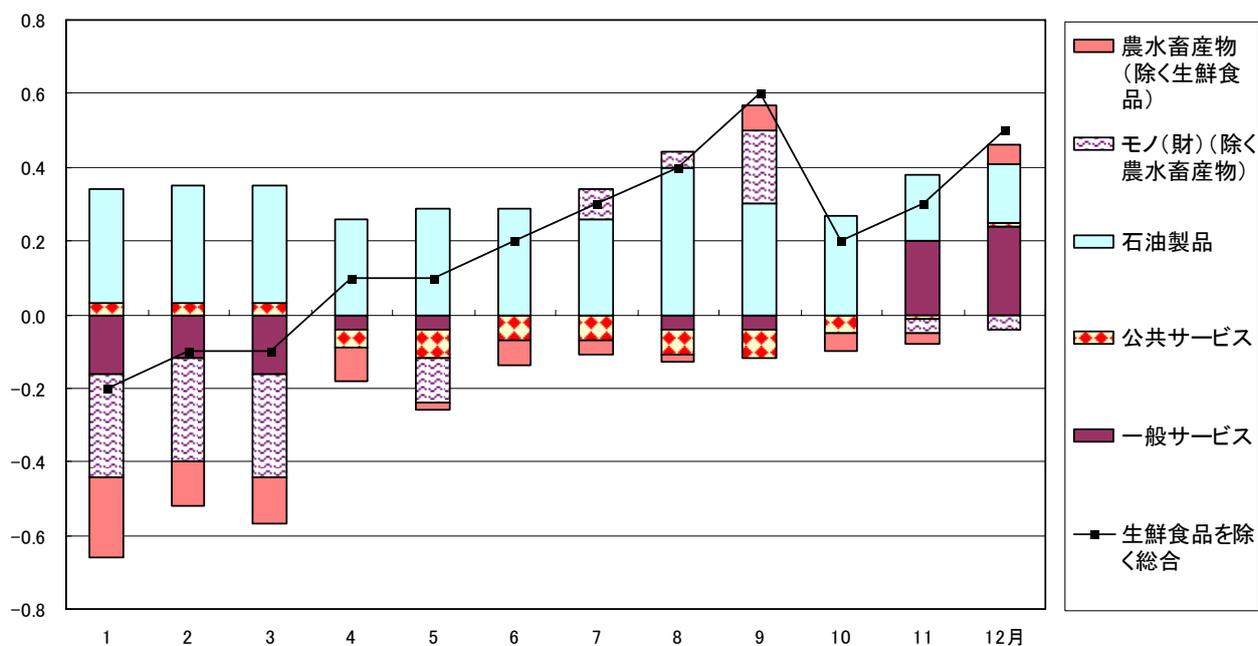
図11 財・サービス分類による生鮮食品を除く総合指数の寄与度(広島市)前年同月比



○ 福山市

一年を通じて石油製品の影響が非常に大きかったが、年末にかけて、やや緩和した。  
 モノ（財）（除く農水畜産物）が年初に大きく下げたが、その後は上昇と下落を繰り返した。  
 農水畜産物（生鮮食品を除く）が概して下落していることが多かった。  
 一般サービスは年末から上昇に転じ、大きく上昇している。

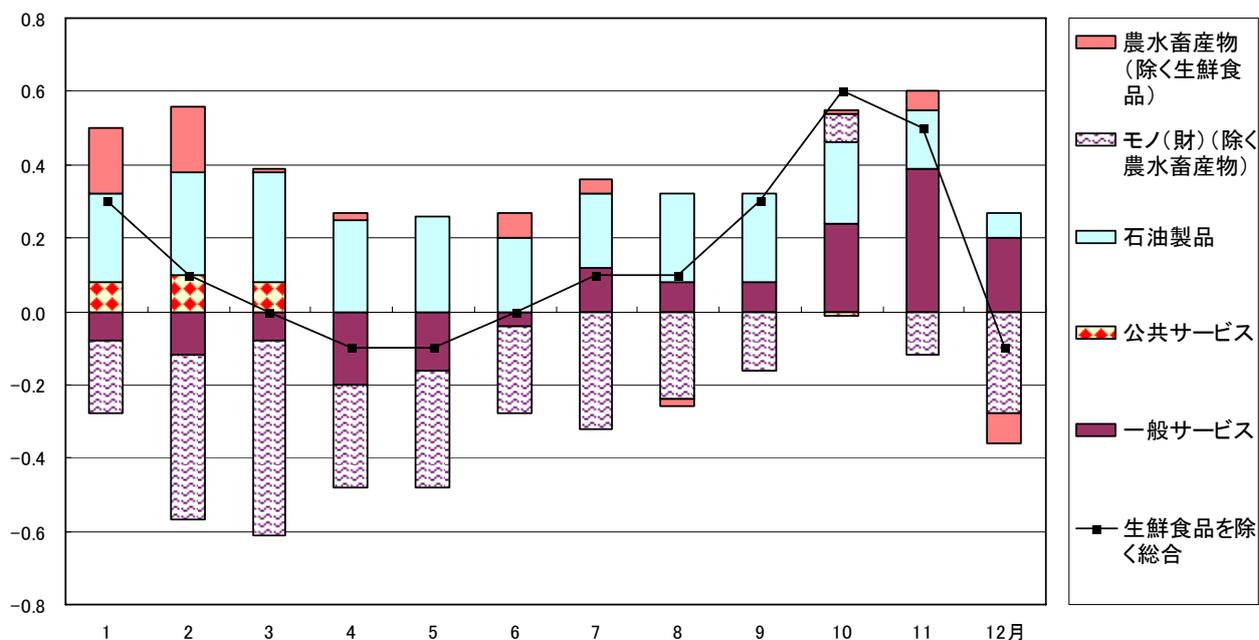
図12 財・サービス分類による生鮮食品を除く総合指数の寄与度(福山市)前年同月比



○ 三次市

一年を通じて石油製品の影響が非常に大きかったが、年末にかけて、急激に緩和した。  
 モノ（財）（除く農水畜産物）が一年を通じて大きく下げた。（10月には一時的な上昇があった。）  
 一般サービスは年中央から上昇に転じ、年末には大きく上昇している。

図13 財・サービス分類による生鮮食品を除く総合指数の寄与度(三次市)前年同月比



### 3 広島市の動き

#### (1) 総合指数及び生鮮食品を除く総合指数

**総合指数は8年ぶりに上昇、生鮮食品を除く総合指数は6年ぶりに上昇**

- 総合指数の前年比は、光熱・水道、住居などの上昇により0.2%上昇した。
- 生鮮食品を除く総合指数の前年比は0.2%上昇した。
- 総合指数は平成10年以来8年ぶり、生鮮食品を除く総合指数は平成12年以來6年ぶりに前年の水準を上回った。

表7 広島市の10大費目別消費者物価指数

(平成17年=100)

区 分	指数	前年比(%)		前年比の動き	費目別の動き	
		18年	17年		上昇した費目	下落した費目
総 合	100.2	0.2	▲0.5	8年ぶりに 上昇		
生鮮食品を 除く総合	100.2	0.2	▲0.3	6年ぶりに 上昇		
食 料	99.6	▲0.4	▲1.4	2年連続下落	野菜・海藻 (2.3)	飲料 (▲6.9) 穀類 (▲2.7)
生鮮食品	101.1	1.1	▲5.9	上昇	生鮮野菜 (4.6)	生鮮魚介 (▲1.5) 生鮮果物 (▲0.9)
住 居	100.7	0.7	▲0.9	5年ぶりに 上昇	家賃 (0.8) 設備修繕・維持 (0.5)	
光 熱 ・ 水 道	103.2	3.2	1.9	3年連続上昇	ガス代 (4.8) 他の光熱 (23.4)	
家具・家事用品	97.6	▲2.4	▲4.6	14年連続 下落	家事雑貨 (4.4)	家庭用耐久財 (▲8.5) 家事用消耗品 (▲2.7)
被服及び履物	101.6	1.6	3.7	3年連続上昇	シャツ・セーター類 (3.5) 和服 (10.5)	下着類 (▲0.3)
保 健 医 療	99.6	▲0.4	▲0.4	3年連続下落		保健医療サービス (▲0.3) 保健医療用品・器具 (▲0.8)
交 通 ・ 通 信	100.5	0.5	0.2	2年連続上昇	自動車等関係費 (2.9)	通信 (▲3.5)
教 育	100.4	0.4	0.2	指数作成以来 連続して上昇	補習教育 (1.1) 授業料等 (0.3)	
教 養 娛 楽	98.6	▲1.4	▲1.6	9年連続下落	教養娯楽サービス (0.5)	教養娯楽用耐久財 (▲19.5)
諸 雑 費	100.5	0.5	▲0.1	上昇	たばこ (4.6) 身の回り用品 (2.9)	理美容用品 (▲2.2)

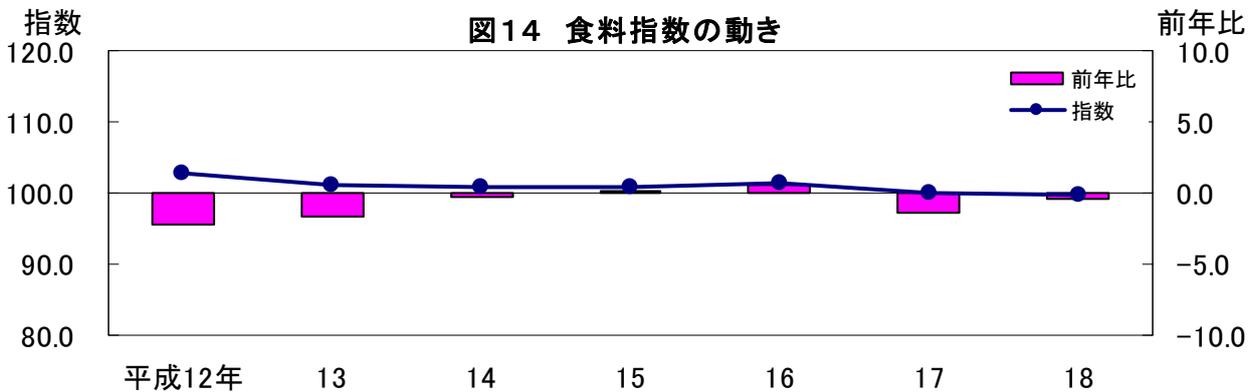
表8 広島市 10大費目の動き（前年比：％）（平成17年=100）

区分	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年
総合	▲ 0.3	▲ 0.9	▲ 0.6	▲ 0.4	▲ 0.3	▲ 0.5	0.2
生鮮食品を除く総合	0.1	▲ 0.9	▲ 0.5	▲ 0.6	▲ 0.3	▲ 0.3	0.2
食料	▲ 2.2	▲ 1.7	▲ 0.3	0.2	0.5	▲ 1.4	▲ 0.4
生鮮食品	▲ 6.6	▲ 0.5	▲ 2.3	2.6	1.0	▲ 5.9	1.1
住居	0.7	0.5	0.0	▲ 0.3	▲ 0.4	▲ 0.9	0.7
光熱・水道	2.2	0.4	0.3	▲ 1.5	0.7	1.9	3.2
家具・家事用品	▲ 2.5	▲ 2.0	▲ 4.1	▲ 3.3	▲ 5.2	▲ 4.6	▲ 2.4
被服及び履物	1.8	▲ 1.7	▲ 0.7	▲ 2.3	0.1	3.7	1.6
保健医療	0.4	0.7	▲ 1.1	1.8	▲ 0.6	▲ 0.4	▲ 0.4
交通・通信	0.6	▲ 0.7	▲ 0.7	▲ 0.3	▲ 0.6	0.2	0.5
教育	1.3	0.8	1.6	0.8	0.7	0.2	0.4
教養娯楽	▲ 1.0	▲ 2.9	▲ 2.3	▲ 1.3	▲ 1.9	▲ 1.6	▲ 1.4
諸雑費	▲ 0.1	0.5	▲ 0.7	0.7	0.1	▲ 0.1	0.5

(2) 費目別指数の動き（平成17年=100，前年比：％，以下同じ。）

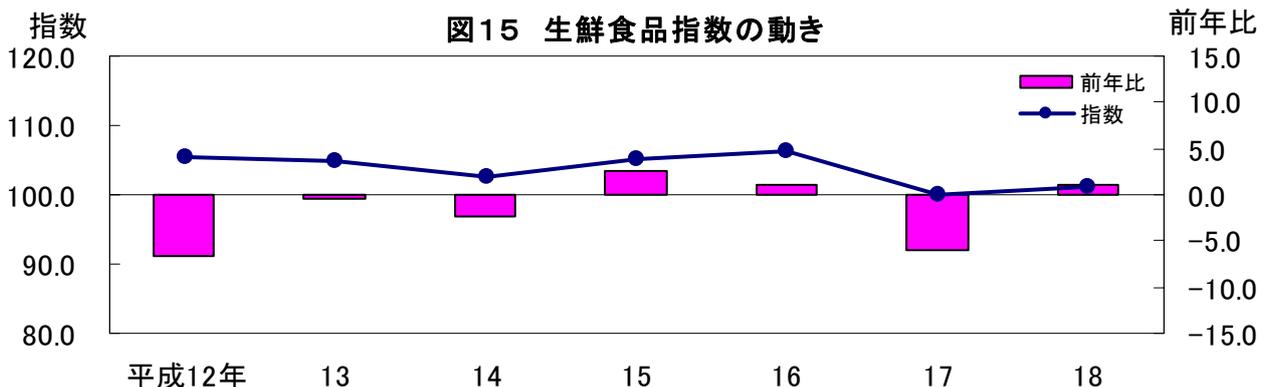
食料（99.6）は飲料の下落などにより（-）0.4％

- 果汁入り飲料などの飲料（93.1）が6.9％下落，食パンなどの穀類（97.3）が2.7％下落したことなどにより，**食料**は2年連続下落した。



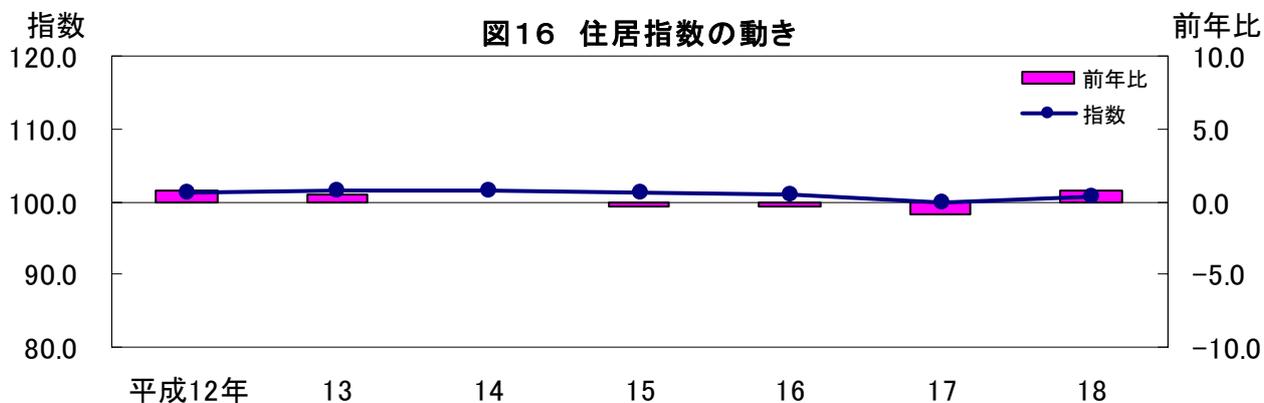
生鮮食品（101.1）は生鮮野菜の上昇などにより（+）1.1％

- 生鮮野菜（104.6）が4.6％上昇したことなどにより，**生鮮食品**は上昇した。



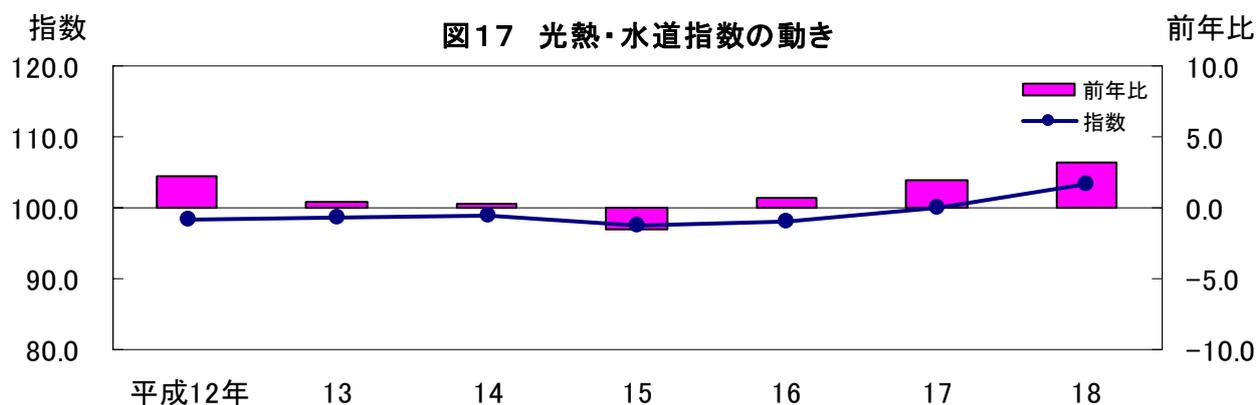
**住居（100.7）は家賃の上昇などにより（+）0.7%**

○ 持家の帰属家賃(木造中住宅)などの家賃（100.8）が0.8%上昇，板材などの設備修繕・維持（100.5）が0.5%上昇したことなどにより，**住居**は5年ぶりに上昇した。



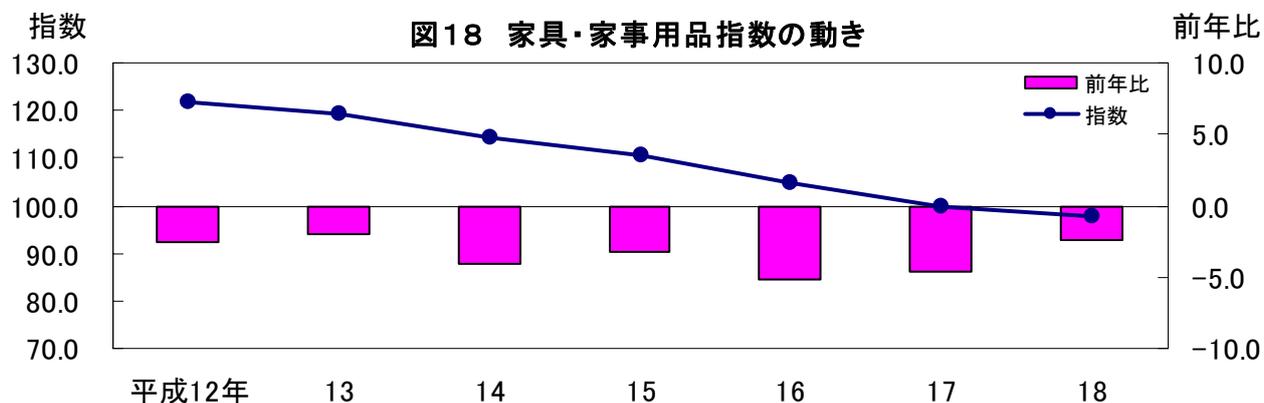
**光熱・水道（103.2）はガス代の上昇などにより（+）3.2%**

○ 都市ガス代などのガス代（104.8）が4.8%上昇，灯油の他の光熱（123.4）が23.4%上昇したことなどにより，**光熱・水道**は3年連続上昇した。



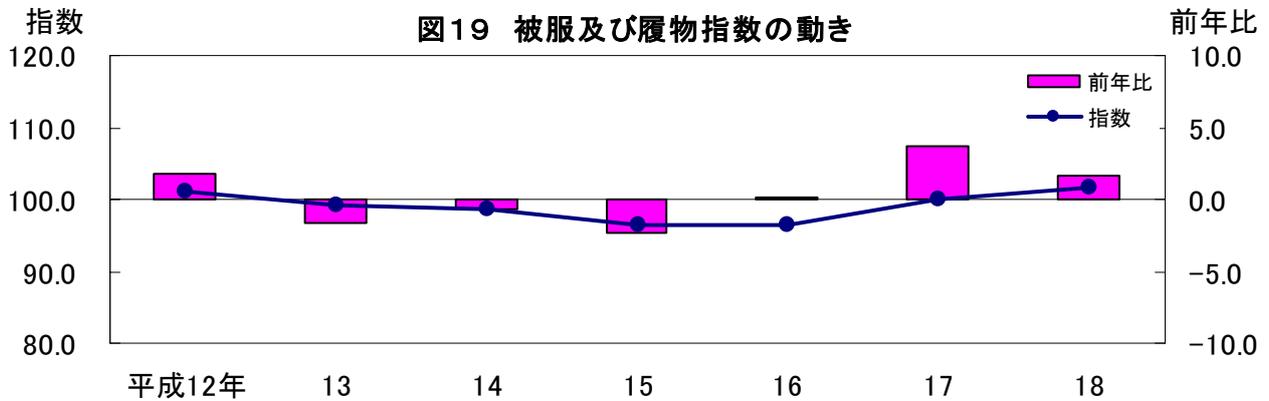
**家具・家事用品（97.6）は家庭用耐久財の下落などにより（-）2.4%**

○ 電気冷蔵庫などの家庭用耐久財（91.5）が8.5%下落，ポリ袋などの家事用消耗品（97.3）が2.7%下落したことなどにより，**家具・家事用品**は14年連続下落した。



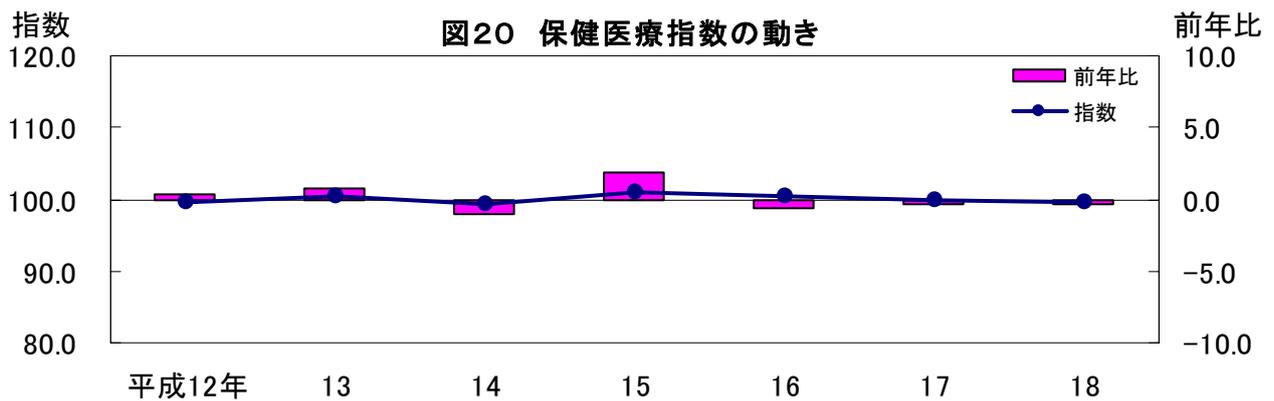
**被服及び履物（101.6）はシャツ・セーター類の上昇などにより（+）1.6%**

○ 婦人セーター（長袖）などのシャツ・セーター類（103.5）が3.5%上昇，婦人着物などの和服（110.5）が10.5%上昇したことなどにより，**被服及び履物**は3年連続上昇した。



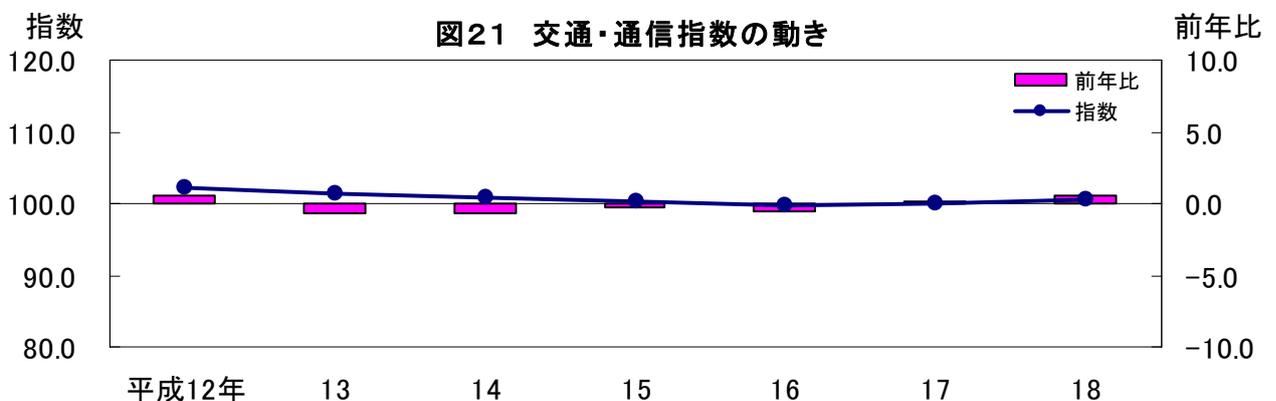
**保健医療（99.6）は保健医療サービスの下落などにより（-）0.4%**

○ 診療代などの保健医療サービス（99.7）が0.3%下落，コンタクトレンズ用剤などの保健医療用品・器具（99.2）が0.8%下落したことなどにより，**保健医療**は3年連続下落した。



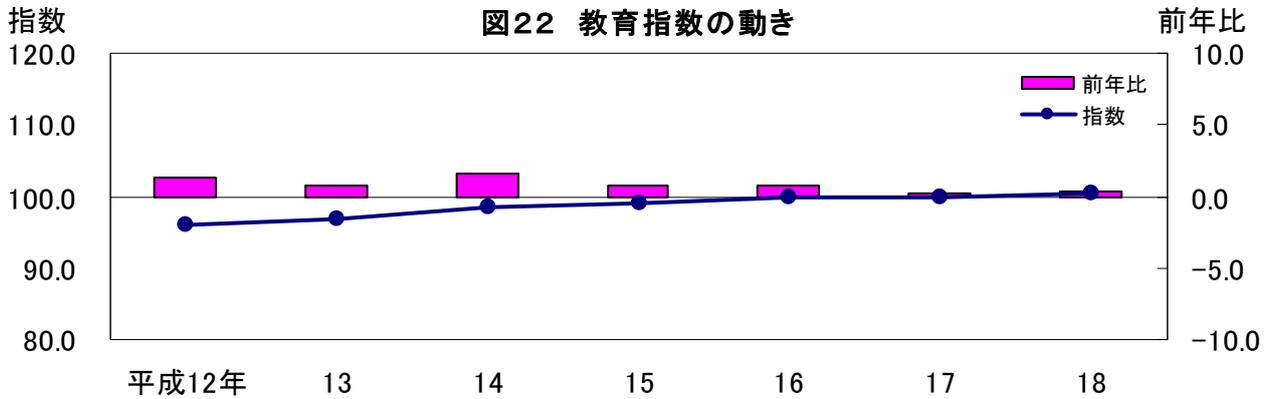
**交通・通信（100.5）は自動車等関係費の上昇などにより（+）0.5%**

○ ガソリンなどの自動車等関係費（102.9）が2.9%上昇したことなどにより，**交通・通信**は2年連続上昇した。



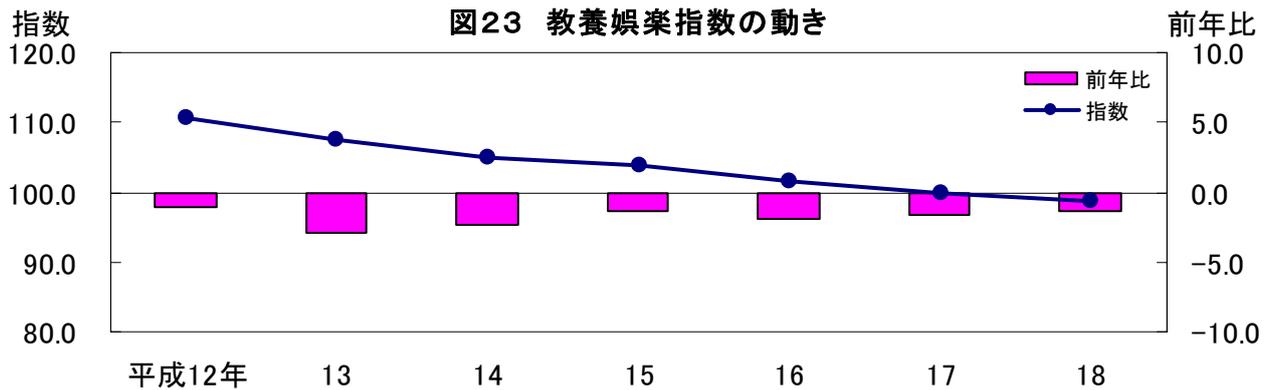
**教育（100.4）は補習教育の上昇などにより（+）0.4%**

○ 月謝（学習塾（中学校））などの補習教育（101.1）が1.1%上昇、公立高校授業料などの授業料等（100.3）が0.3%上昇したことなどにより、**教育**は指数作成以来連続して上昇した。



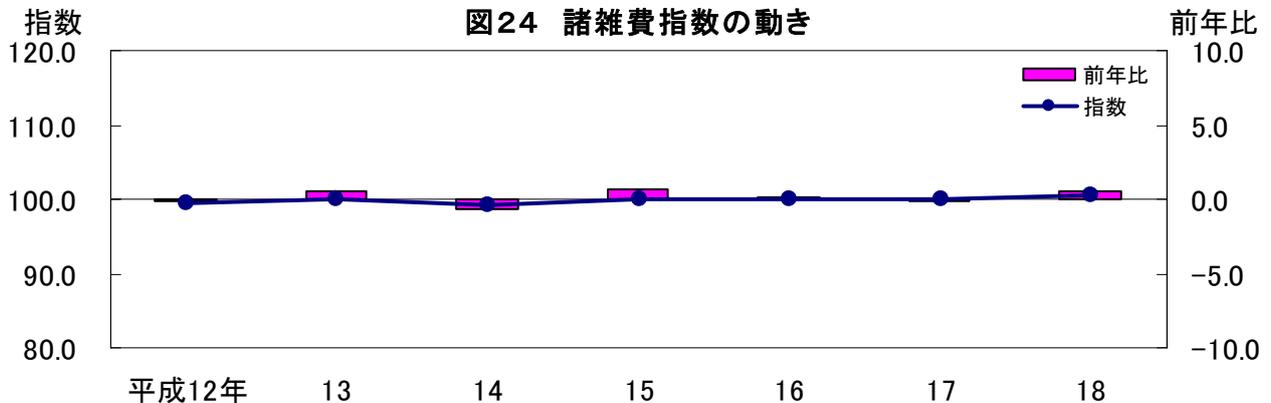
**教養娯楽（98.6）は教養娯楽用耐久財の下落などにより（-）1.4%**

○ パソコン（ノート型）などの教養娯楽用耐久財（80.5）が19.5%下落したことなどにより、**教養娯楽**は9年連続下落した。



**諸雑費（100.5）はたばこの上昇などにより（+）0.5%**

○ たばこ（国産品）などのたばこ（104.6）が4.6%上昇、ハンドバッグ（輸入品）などの身の回り用品（102.9）が2.9%上昇したことなどにより、**諸雑費**は上昇した。



#### 4 福山市の動き

##### (1) 総合指数及び生鮮食品を除く総合指数

##### 総合指数及び生鮮食品を除く総合指数ともに8年ぶりに上昇

- 総合指数の前年比は、食料、光熱・水道などの上昇により0.6%上昇した。
- 生鮮食品を除く総合指数の前年比は0.2%上昇した。
- 総合指数及び生鮮食品を除く総合指数は、平成10年以來8年ぶりに前年の水準を上回った。

表9 福山市の10大費目別消費者物価指数

(平成17年=100)

区 分	指数	前年比(%)		前年比の動き	費目別の動き	
		18年	17年		上昇した費目	下落した費目
総 合	100.6	0.6	▲0.2	8年ぶりに 上昇		
生鮮食品を 除く総合	100.2	0.2	▲0.1	8年ぶりに 上昇		
食 料	101.1	1.1	▲1.1	上昇	野菜・海藻 (8.6) 果物 (10.0)	飲料 (▲4.4)
生鮮食品	108.7	8.7	▲2.3	上昇	生鮮野菜 (13.6) 生鮮果 物 (10.9) 生鮮魚介 (2.8)	
住 居	100.3	0.3	▲0.2	5年ぶりに 上昇	設備修繕・維持 (1.9) 家賃 (0.1)	
光 熱 ・ 水 道	103.0	3.0	1.3	3年連続上昇	他の光熱 (23.7) 電気代 (1.8)	
家具・家事用品	99.1	▲0.9	▲2.4	8年連続下落	家事雑貨 (2.2)	家庭用耐久財 (▲3.2) 家事用消耗品 (▲3.9)
被服及び履物	101.7	1.7	2.8	2年連続上昇	洋服 (1.5) 和服 (10.5)	シャツ・セーター類 (▲0.4)
保 健 医 療	99.7	▲0.3	▲0.1	2年連続下落	保健医療用品・器具 (0.4)	保健医療サービス (▲0.4) 医薬品・健康 保持用摂取品 (▲0.5)
交 通 ・ 通 信	100.3	0.3	0.7	2年連続上昇	自動車等関係費 (2.3)	通信 (▲3.5) 交通 (▲1.5)
教 育	100.6	0.6	0.6	指数作成以來 連続して上昇	授業料等 (0.5) 補習教育 (0.6)	
教 養 娯 楽	98.4	▲1.6	▲1.8	8年連続下落	教養娯楽サービス (0.3)	教養娯楽用耐久財 (▲18.2)
諸 雑 費	101.2	1.2	1.0	4年連続上昇	身の回り用品 (4.0) たばこ (4.6)	理美容用品 (▲0.3)

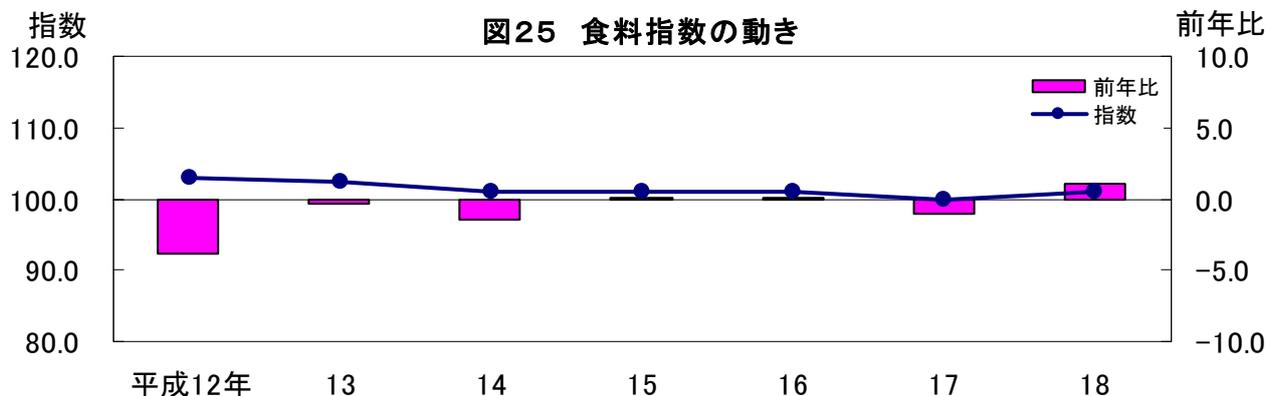
表10 福山市 10大費目の動き（前年比：％）（平成17年=100）

区分	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年
総合	▲1.2	▲0.8	▲0.9	▲0.2	▲0.4	▲0.2	0.6
生鮮食品を除く総合	▲0.6	▲1.0	▲0.9	▲0.2	▲0.5	▲0.1	0.2
食料	▲3.9	▲0.3	▲1.5	0.1	0.1	▲1.1	1.1
生鮮食品	▲11.8	3.4	▲1.3	0.1	1.3	▲2.3	8.7
住居	0.1	0.8	0.0	0.0	▲0.4	▲0.2	0.3
光熱・水道	0.6	▲0.7	1.5	▲0.4	0.6	1.3	3.0
家具・家事用品	▲5.9	▲0.5	▲3.1	▲3.0	▲4.8	▲2.4	▲0.9
被服及び履物	6.5	▲6.2	▲1.2	▲1.1	▲1.1	2.8	1.7
保健医療	▲1.4	0.8	▲1.2	2.7	0.1	▲0.1	▲0.3
交通・通信	▲1.6	▲0.4	▲0.7	0.2	▲0.4	0.7	0.3
教育	1.4	0.8	0.2	0.5	1.5	0.6	0.6
教養娯楽	▲1.5	▲3.5	▲2.5	▲1.8	▲1.9	▲1.8	▲1.6
諸雑費	1.1	▲0.3	▲0.2	0.8	0.1	1.0	1.2

(2) 費目別指数の動き（平成17年=100，前年比：％，以下同じ。）

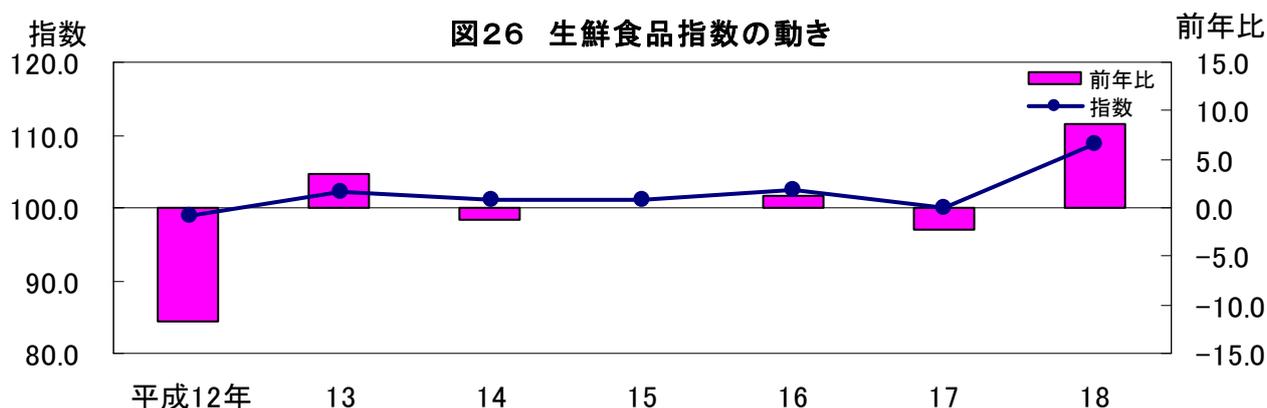
食料（101.1）は野菜・海藻の上昇などにより（+）1.1％

- キャベツ，なすなどの野菜・海藻（108.6）が8.6％上昇，なし，みかんなどの果物（110.0）が10.0％上昇したことなどにより，食料は上昇した。



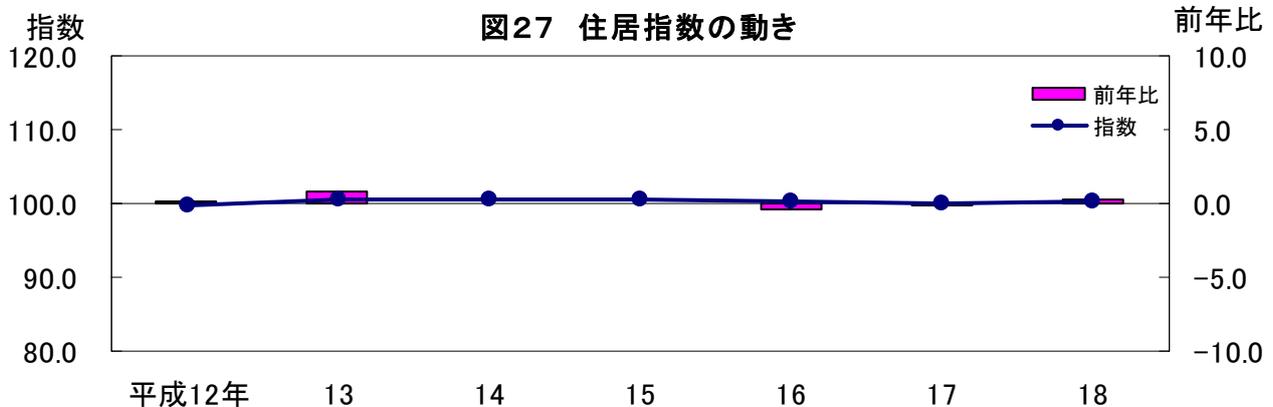
生鮮食品（108.7）は生鮮野菜の上昇などにより（+）8.7％

- 生鮮野菜（113.6）が13.6％上昇，生鮮果物（110.9）が10.9％上昇したことなどにより，生鮮食品は上昇した。



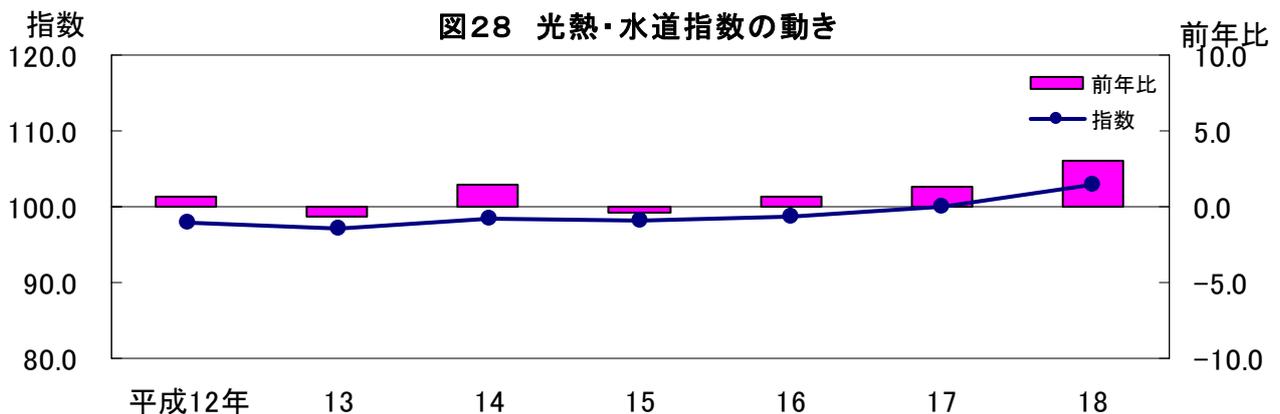
**住居（100.3）は設備修繕・維持の上昇などにより（+）0.3%**

○ 水道工事費などの設備修繕・維持（101.9）が1.9%上昇、持家の帰属家賃（木造中住宅）などの家賃（100.1）が0.1%上昇したことなどにより、**住居**は5年ぶりに上昇した。



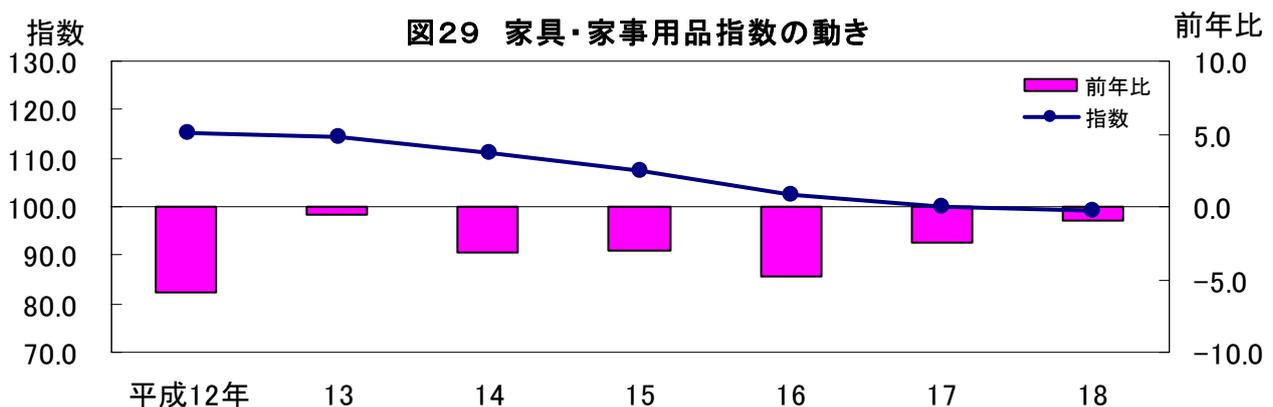
**光熱・水道（103.0）は他の光熱の上昇などにより（+）3.0%**

○ 灯油の他の光熱（123.7）が23.7%上昇、電気代（101.8）が1.8%上昇したことなどにより、**光熱・水道**は3年連続上昇した。



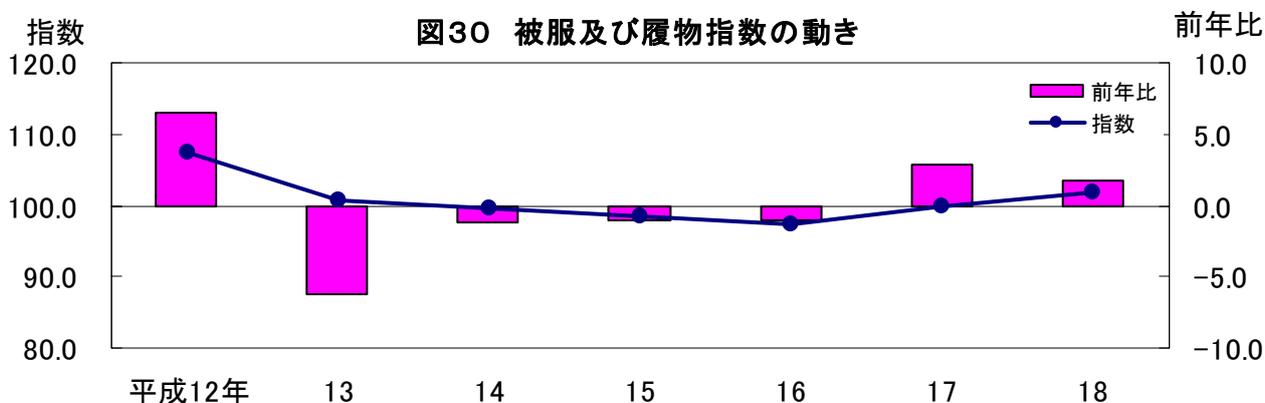
**家具・家事用品（99.1）は家庭用耐久財の下落などにより（-）0.9%**

○ ルームエアコンなどの家庭用耐久財（96.8）が3.2%下落、洗濯用洗剤などの家事用消耗品（96.1）が3.9%下落したことなどにより、**家具・家事用品**は8年連続下落した。



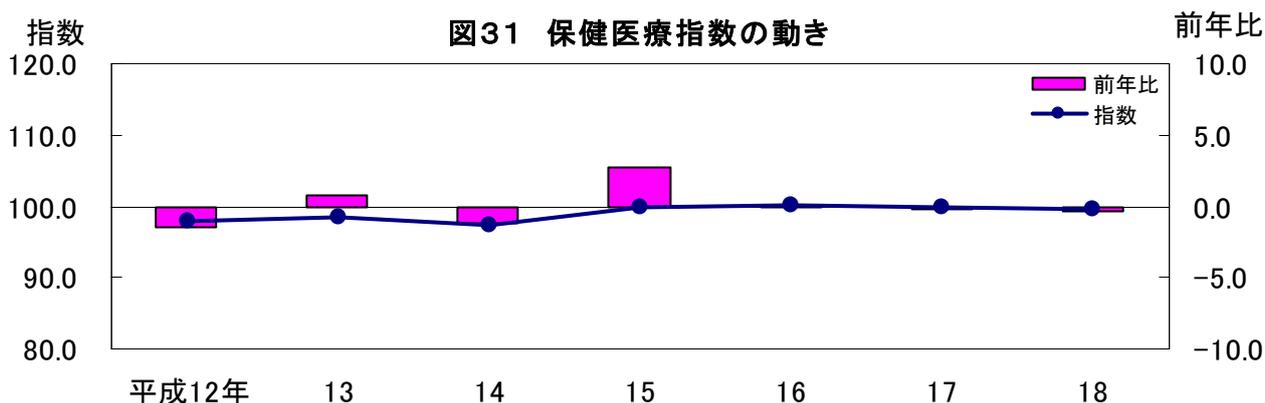
**被服及び履物（101.7）は洋服の上昇などにより（+）1.7%**

- スカート（秋冬物）などの洋服（101.5）が1.5%上昇，婦人着物などの和服（110.5）が10.5%上昇したことなどにより，**被服及び履物**は2年連続上昇した。



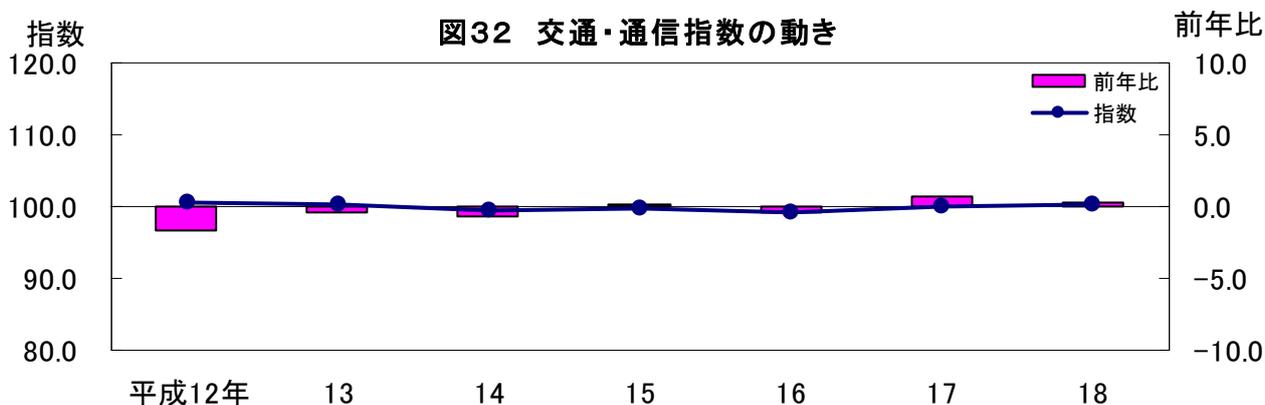
**保健医療（99.7）は保健医療サービスの下落などにより（-）0.3%**

- 診療代などの保健医療サービス（99.6）が0.4%下落，目薬などの医薬品・健康保持用摂取品（99.5）が0.5%下落したことなどにより，**保健医療**は2年連続下落した。



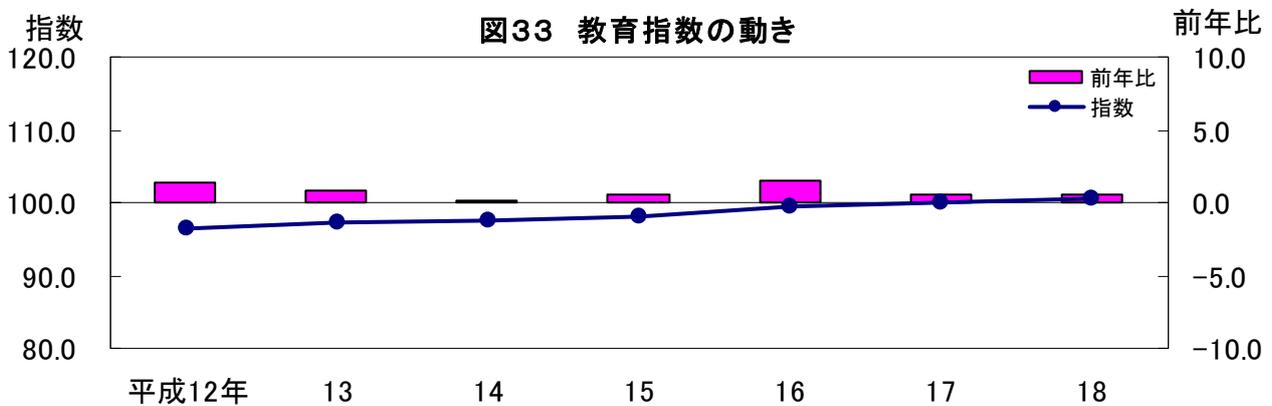
**交通・通信（100.3）は自動車等関係費の上昇などにより（+）0.3%**

- ガソリンなどの自動車等関係費（102.3）が2.3%上昇したことなどにより，**交通・通信**は2年連続上昇した。



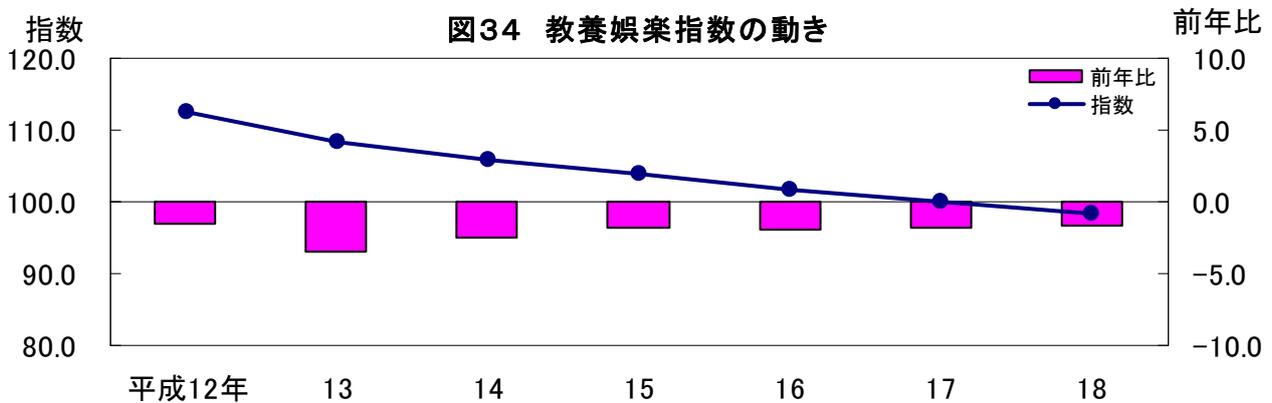
**教育（100.6）は授業料等の上昇などにより（+）0.6%**

○ 私立幼稚園保育料などの授業料等（100.5）が0.5%上昇、月謝（学習塾（高校・予備校）などの補習教育（100.6）が0.6%上昇したことなどにより、**教育**は指数作成以来連続して上昇した。



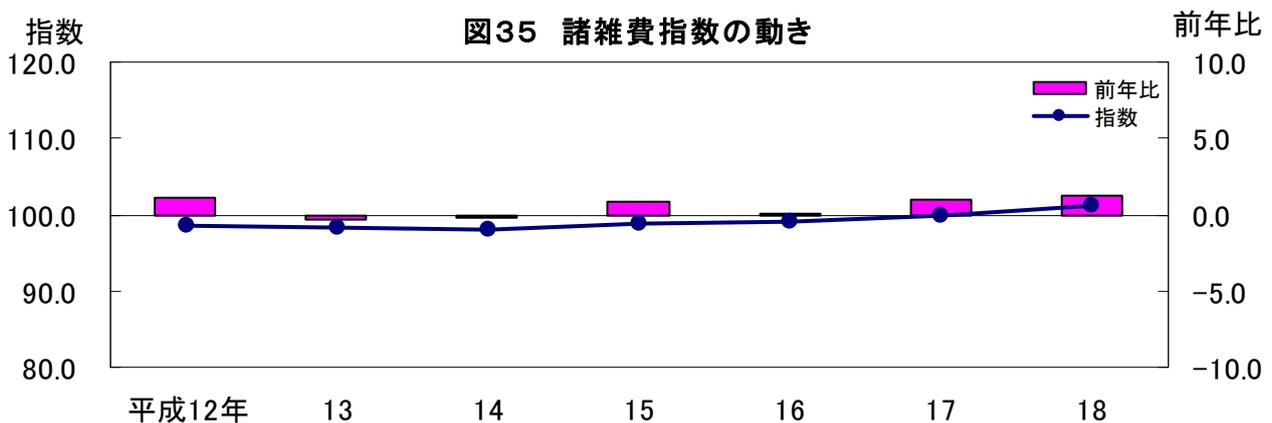
**教養娯楽（98.4）は教養娯楽用耐久財の下落などにより（-）1.6%**

○ テレビ（薄型）、パソコン（ノート型）などの教養娯楽用耐久財（81.8）が18.2%下落したことなどにより、**教養娯楽**は8年連続下落した。



**諸雑費（101.2）は身の回り用品の上昇などにより（+）1.2%**

○ ハンドバッグ（輸入品）などの身の回り用品（104.0）が4.0%上昇、たばこ（国産品）などのたばこ（104.6）が4.6%上昇したことなどにより、**諸雑費**は4年連続上昇した。



## 5 三次市の動き

### (1) 総合指数及び生鮮食品を除く総合指数

#### 総合指数及び生鮮食品を除く総合指数ともに8年ぶりに上昇

- 総合指数の前年比は、光熱・水道、食料などの上昇により0.3%上昇した。
- 生鮮食品を除く総合指数の前年比は0.1%上昇した。
- 総合指数及び生鮮食品を除く総合指数は、平成10年以來8年ぶりに前年の水準を上回った。

表11 三次市の10大費目別消費者物価指数

(平成17年=100)

区 分	指数	前年比(%)		前年比の動き	費目別の動き	
		18年	17年		上昇した費目	下落した費目
総 合	100.3	0.3	▲0.4	8年ぶりに 上昇		
生鮮食品を 除く総合	100.1	0.1	▲0.1	8年ぶりに 上昇		
食 料	100.5	0.5	▲1.5	上昇	野菜・海藻(5.6) 肉類(3.1)	飲料(▲5.8)
生鮮食品	104.1	4.1	▲4.8	上昇	生鮮野菜(8.2)生鮮果物 (2.4)生鮮魚介(1.0)	
住 居	100.5	0.5	0.5	3年連続上昇	家賃(0.5) 設備修繕・維持(0.7)	
光 熱 ・ 水 道	103.1	3.1	1.4	3年連続上昇	ガス代(4.6) 他の光熱(18.3)	
家具・家事用品	100.9	0.9	▲3.1	12年ぶりに 上昇	家庭用耐久財(2.7) 家事雑貨(2.7)	家事用消耗品(▲3.4)
被服及び履物	98.0	▲2.0	▲0.1	2年連続下落	和服(10.5)	洋服(▲3.1) 履物類(▲12.3)
保 健 医 療	100.2	0.2	▲1.1	3年ぶりに 上昇	医薬品・健康保持用摂取 品(0.7)保健医療用品・ 器具(0.2)	保健医療サービス (▲0.4)
交 通 ・ 通 信	100.7	0.7	0.3	2年連続上昇	自動車等関係費(2.8)	通信(▲3.3)
教 育	100.3	0.3	0.9	指数作成以來 連続して上昇	授業料等(0.3) 補習教育(0.4)	
教 養 娛 楽	98.0	▲2.0	▲1.4	8年連続下落	教養娯楽サービス(0.4)	教養娯楽用耐久財 (▲19.4)
諸 雑 費	100.4	0.4	1.2	2年連続上昇	他の諸雑費(1.2) たばこ(4.6)	理美容用品(▲2.1)

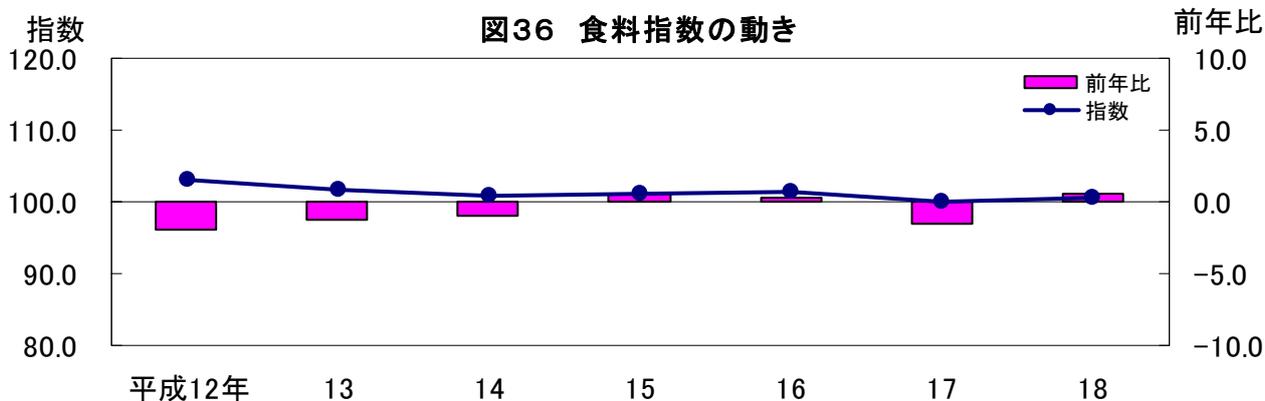
表12 三次市 10大費目の動き（前年比：％）（平成17年=100）

区分	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年
総合	▲ 1.1	▲ 1.2	▲ 0.7	▲ 0.3	▲ 0.1	▲ 0.4	0.3
生鮮食品を除く総合	▲ 0.7	▲ 1.2	▲ 0.7	▲ 0.3	▲ 0.3	▲ 0.1	0.1
食料	▲ 2.0	▲ 1.3	▲ 1.0	0.5	0.3	▲ 1.5	0.5
生鮮食品	▲ 6.7	▲ 0.5	▲ 2.5	3.2	1.0	▲ 4.8	4.1
住居	▲ 1.5	▲ 1.6	▲ 0.1	0.0	0.2	0.5	0.5
光熱・水道	1.4	▲ 1.6	▲ 0.4	▲ 1.4	0.5	1.4	3.1
家具・家事用品	▲ 2.3	▲ 1.8	▲ 5.5	▲ 3.8	▲ 3.9	▲ 3.1	0.9
被服及び履物	0.9	▲ 2.6	▲ 0.9	▲ 2.0	0.7	▲ 0.1	▲ 2.0
保健医療	▲ 1.5	0.3	▲ 0.6	3.1	▲ 0.6	▲ 1.1	0.2
交通・通信	0.1	▲ 0.3	▲ 0.1	0.0	▲ 0.9	0.3	0.7
教育	0.8	0.8	0.6	0.8	0.5	0.9	0.3
教養娯楽	▲ 1.1	▲ 2.1	▲ 2.5	▲ 1.7	▲ 1.0	▲ 1.4	▲ 2.0
諸雑費	▲ 0.8	0.9	0.5	0.5	▲ 0.2	1.2	0.4

(2) 費目別指数の動き（平成17年=100，前年比：％，以下同じ。）

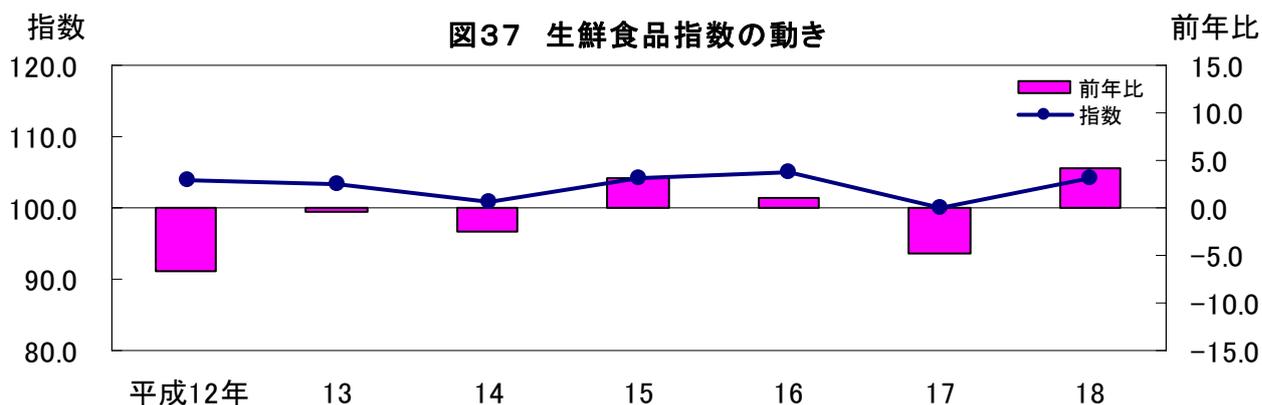
**食料（100.5）は、野菜・海藻の上昇などにより（+）0.5％**

○ こんぶつくだ煮、ねぎなどの野菜・海藻（105.6）が5.6％上昇、牛肉（ロース）などの肉類（103.1）が3.1％上昇したことなどにより、**食料**は上昇した。



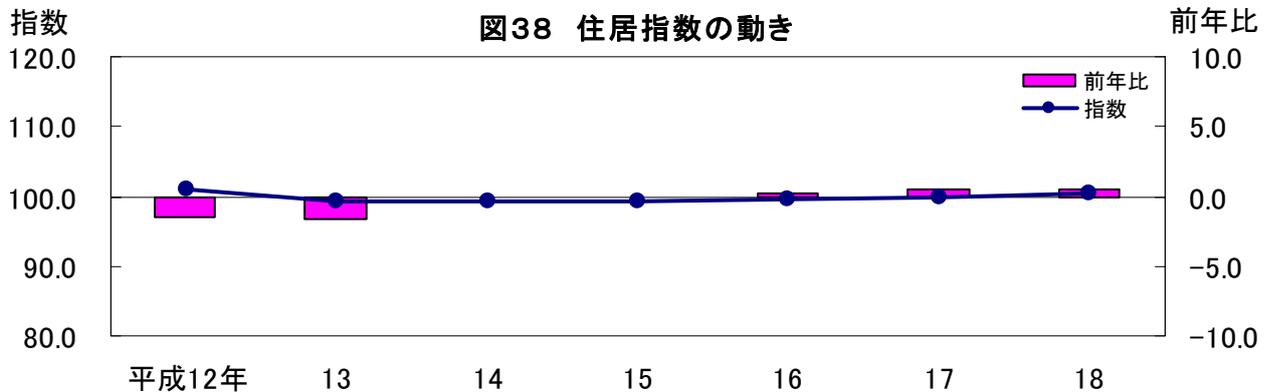
**生鮮食品（104.1）は、生鮮野菜の上昇などにより（+）4.1％**

○ 生鮮野菜（108.2）が8.2％上昇、生鮮果物（102.4）が2.4％上昇したことなどにより**生鮮食品**は上昇した。



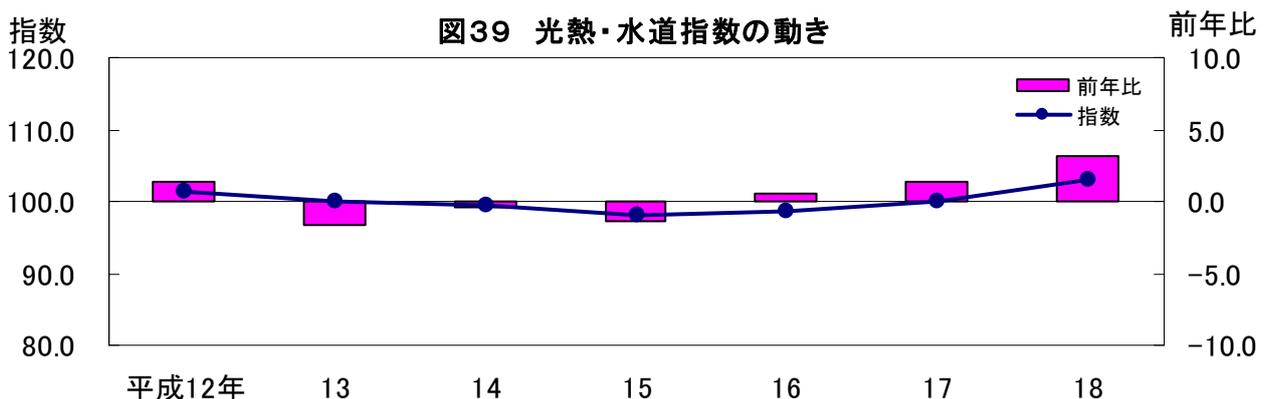
**住居（100.5）は家賃の上昇などにより（+）0.5%**

○ 持家の帰属家賃（木造中住宅）などの家賃（100.5）が0.5%上昇，板ガラス取替費などの設備修繕・維持（100.7）が0.7%上昇したことなどにより，**住居**は3年連続上昇した。



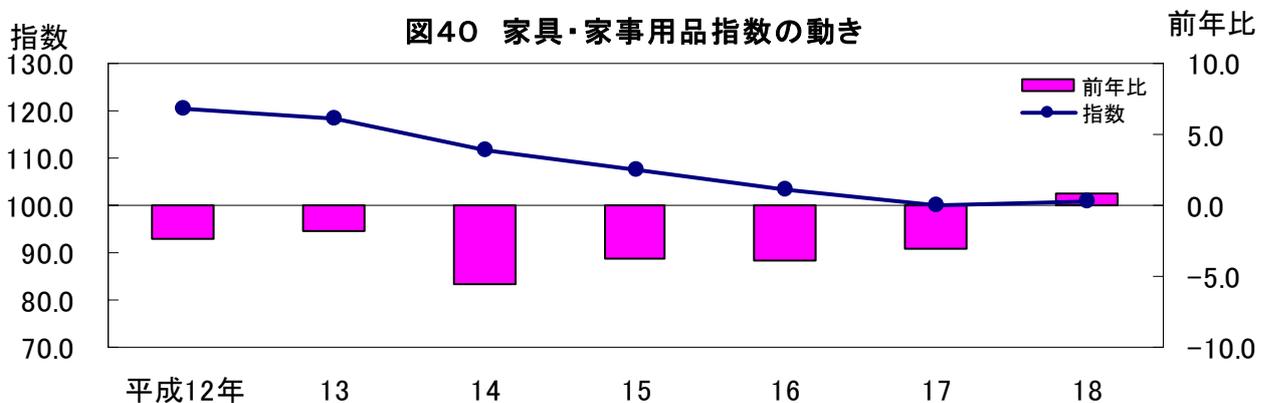
**光熱・水道（103.1）はガス代の上昇などにより（+）3.1%**

○ プロパンガスなどのガス代（104.6）が4.6%上昇，灯油の他の光熱（118.3）が18.3%上昇したことなどにより，**光熱・水道**は3年連続上昇した。



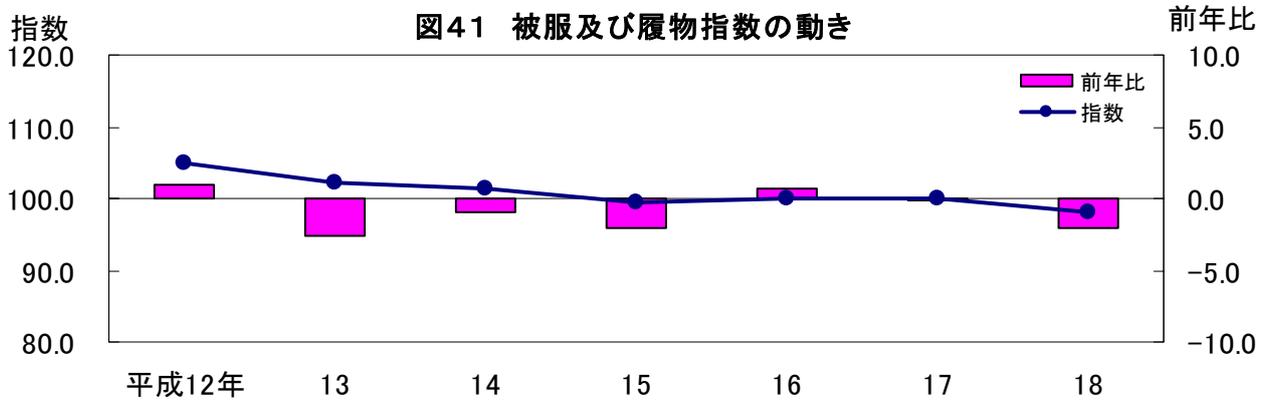
**家具・家事用品（100.9）は家庭用耐久財の上昇などにより（+）0.9%**

○ ガステーブルなどの家庭用耐久財（102.7）が2.7%上昇，蛍光灯などの家事雑貨（102.7）が2.7%上昇したことなどにより，**家具・家事用品**は12年ぶりに上昇した。



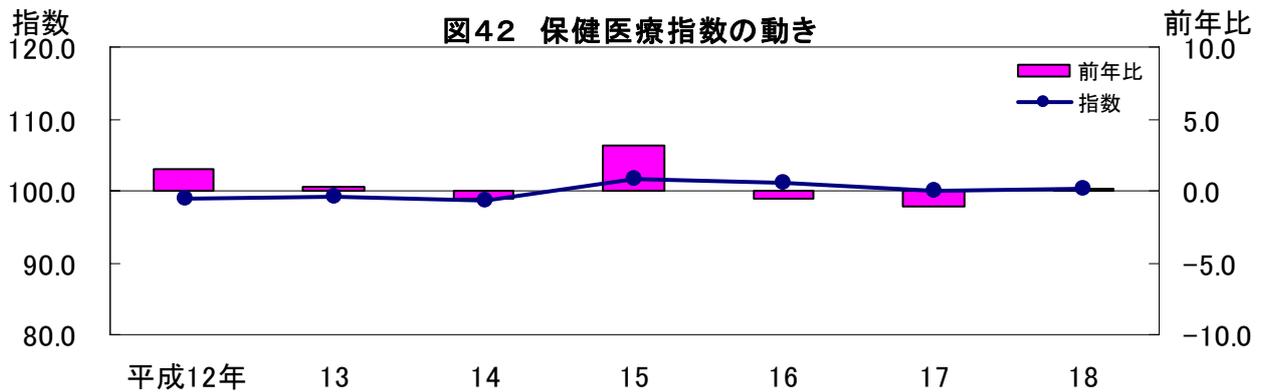
**被服及び履物（98.0）は洋服の下落などにより（-）2.0%**

○ 男子ズボン（冬物）などの洋服（96.9）が3.1%下落，婦人靴などの履物類（87.7）が12.3%下落したことなどにより，**被服及び履物**は2年連続下落した。



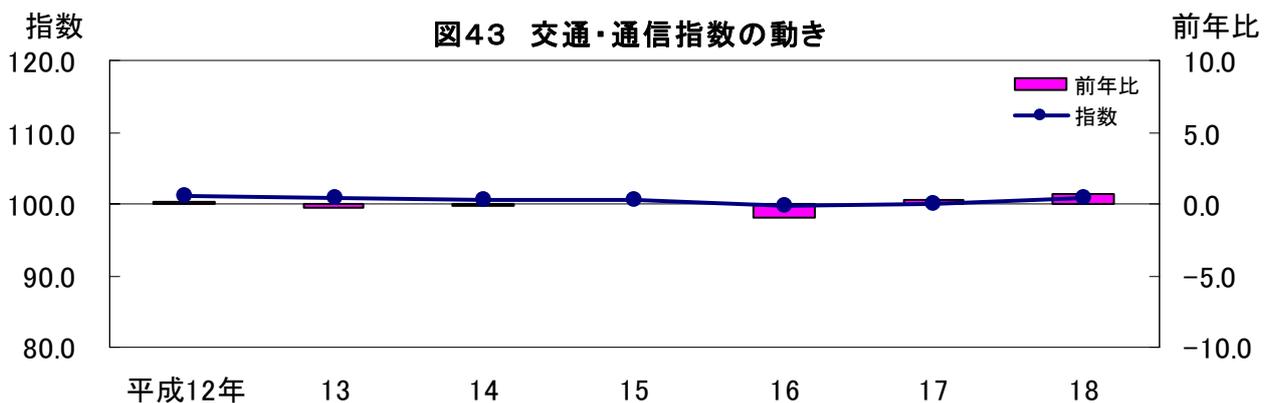
**保健医療（100.2）は医薬品・健康保持用摂取品の上昇などにより（+）0.2%**

○ サプリメントなどの医薬品・健康保持用摂取品（100.7）が0.7%上昇，ヘルスマーターなどの保健医療用品・器具（100.2）が0.2%上昇したことなどにより，**保健医療**は3年ぶりに上昇した。



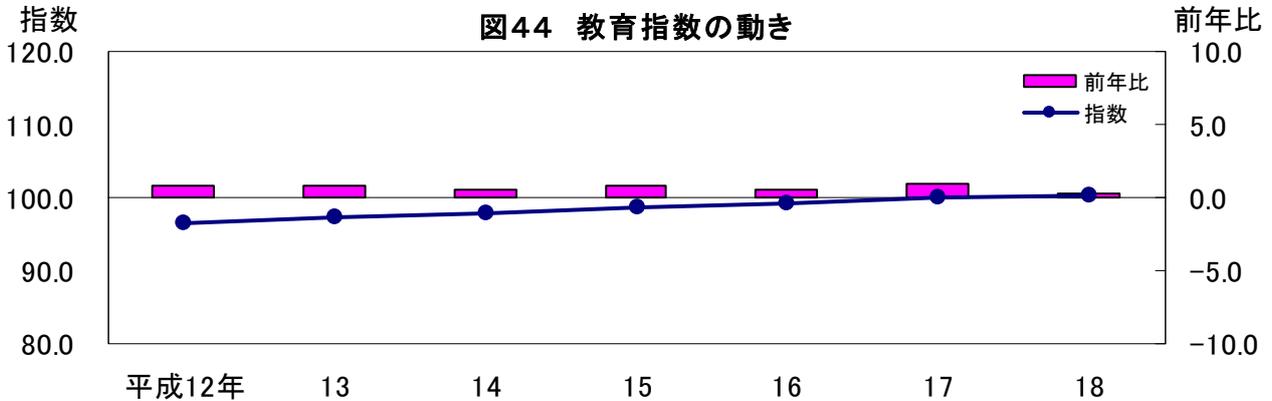
**交通・通信（100.7）は自動車等関係費の上昇などにより（+）0.7%**

○ ガソリンなどの自動車等関係費（102.8）が2.8%上昇したことなどにより，**交通・通信**は2年連続上昇した。



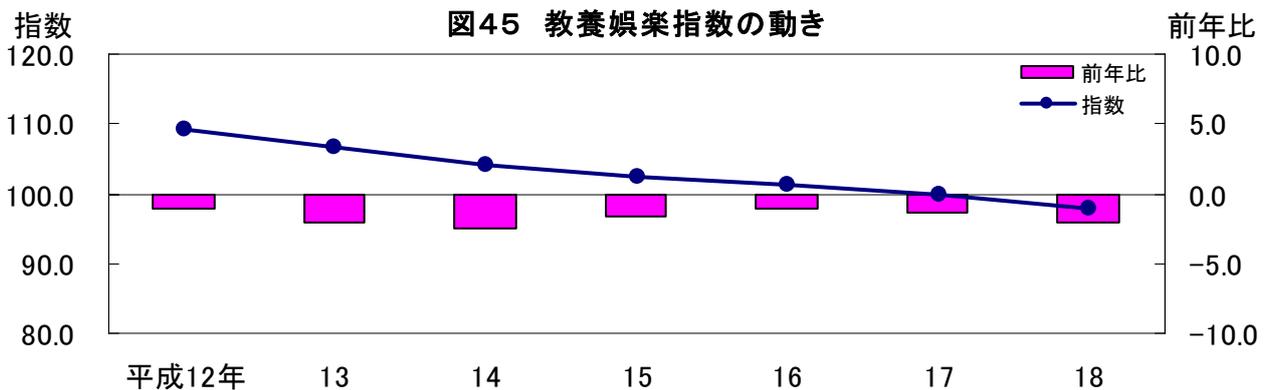
**教育（100.3）は授業料等の上昇などにより（+）0.3%**

○ 公立高校授業料などの授業料等（100.3）が0.3%上昇，月謝（学習塾（中学校））などの補習教育（100.4）が0.4%上昇したことなどにより，**教育**は指数作成以来連続して上昇した。



**教養娯楽（98.0）は教養娯楽用耐久財の下落などにより（-）2.0%**

○ パソコン（ノート型）などの教養娯楽用耐久財（80.6）が19.4%下落したことなどにより，**教養娯楽**は8年連続下落した。



**諸雑費（100.4）は他の諸雑費の上昇などにより（+）0.4%**

○ 介護料などの他の諸雑費（101.2）が1.2%上昇，たばこ（国産品）などのたばこ（104.6）が4.6%上昇したことなどにより，**諸雑費**は2年連続上昇した。

